

令和3年度15か月予算の主な事業

(参考資料)

徳 島 県

目 次

	頁
1 感染症の克服・社会経済活動の両立	
◆業と雇用を守る	
(1) ⑨ 「新しい生活様式」実装推進事業 ～飲食店応援事業～	1
(2) ⑨ 県民限定「もっと！とくしま応援割」の創設	2
(3) ⑨ 安心実感！「公共交通利用回復支援事業」	3
(4) WITHコロナ・アフターコロナ時代における農畜産業支援の展開	4
⑨ 徳島県産香酸柑橘等の産地強化支援事業	
⑨ 徳島県産花きの需要喚起応援事業	
⑨ ニューノーマルに対応した徳島県産花きの新たな需要創出・開拓事業	
⑨ 「新しい生活様式」に適応した徳島県産畜産ブランド販路拡大強化事業	
⑨ 徳島「阿波地美栄」消費回復・販路開拓事業	
(5) WITHコロナ・アフターコロナ時代における林業・木材産業支援の展開	5
山の仕事を守るコロナ対策緊急支援事業	
⑨ 木造応急仮設住宅事前復興事業	
⑨ 使おう県産材！「徳島すぎの家」普及拡大事業	
(6) WITHコロナ・アフターコロナ時代における水産業支援の展開	6
届け「海の幸」需要回復推進事業	
(7) ポストコロナを見据えた「資金繰り」支援	7
新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業	
(8) 新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業	8
(9) 感染症に強いニューノーマルとくしまの実現	9
⑨ 生活衛生関係営業アフターコロナ対応強化事業	
(10) WEBフル活用・中小企業海外販路開拓支援事業	10
⑨ オンラインで拓く！広げる！海外販路開拓事業	
◆学びを支える	
(11) ⑨ 「徳島県GIGAスクール構想」実装事業	11
⑨ 新時代のハイブリッド型「学び」推進プロジェクト	
⑨ 家庭学習のための通信機器整備事業	
(12) 「すべての子どもたちに学びの保障を！」学校教育活動サポート事業	12
学びの保障のための学校教育活動事業	
スクール・サポート・スタッフ配置促進事業	
(13) ⑨ 感染症対策等学校教育活動継続事業	13
(14) 私立学校振興事業	14
⑨ 私立学校WITHコロナ支援事業	

2 デジタル社会の実装・地方創生の新次元展開

◆徳島が先導！「デジタル社会」の実装

- | | | | |
|------|---|--------------------------------|----|
| (29) | 新 | ローカル5Gプロジェクト加速事業 | 27 |
| (30) | 新 | デジタル社会のパスポート！マイナンバーカード利活用促進 | 28 |
| | 新 | デジタル社会のパスポート！マイナンバーカード申請サポート事業 | |
| | 新 | マイナンバーカード活用！地域活動応援事業 | |
| (31) | 新 | デジタル化対応産業教育設備整備事業 | 29 |
| (32) | 新 | 「徳島県GIGAスクール構想」実装事業【P.11再掲】 | |
| | 新 | 徳島県GIGAスクール構想推進事業 | |
| (33) | | ポストコロナを見据えた「資金繰り」支援【P.7再掲】 | |
| | | 中小企業振興資金貸付金（「DX促進資金」の創設） | |
| (34) | | 戦略的企業誘致とDX投資の促進 | 30 |
| | | 企業立地促進事業費補助金（「DX促進事業」の創設） | |
| | | 情報通信関連事業立地促進費補助金 | |
| (35) | 新 | 徳島ものづくりDX推進事業 | 31 |
| (36) | 新 | 建設分野DX実装事業 | 32 |
| (37) | | 実装加速！未来へ羽ばたくスマート農林水産業 | 33 |
| | | 生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業展開事業 | |
| | | 漁海況予測システム構築事業 | |
| | 新 | 漁業調査船とくしま新船建造事業 | |
| | | 勝ち抜く！園芸産地強靱化事業 | |
| | 新 | 5G活用！スマートファーマー育成事業 | |
| | | 5G活用スマート農業実証事業 | |
| | | スマート農業経営モデル確立事業 | |
| | 新 | 「スマート林業」導入支援事業 | |
| (38) | | 農林水産業未来創造基金活用事業 | 34 |
| | | 農山漁村未来創造事業 | |
| (39) | | 「県庁バックオフィス改革」による行政のデジタル化の加速 | 35 |
| | 新 | 電子入札全庁展開事業 | |
| | 新 | 県庁会議室DX化事業 | |
| | | 目指せスマート県庁！「電子決裁100%化」実装事業 | |
| (40) | | 最先端映像技術を活用したクリエイティブ産業の集積 | 36 |
| | 新 | 「3D・VRショールーム」実装プロジェクト | |
| (41) | | 5Gスマートファクトリー推進事業 | 37 |
| (42) | 新 | 企業局「スマート保安」推進事業 | 38 |

◆都市から地方への「人の流れ」加速

- (43) ⑧ サテライトオフィスの誘致促進 39
 サテライトオフィス誘致促進事業
 ⑧ 地域の担い手創出！サテライトオフィス誘致定着事業
- (44) 戦略的企業誘致とDX投資の促進【P. 30再掲】
 戦略的企業誘致強化事業
 企業立地促進事業費補助金（サテライトオフィス等の誘致強化）
- (45) ⑧ 「#徳島」 “アワ” ーケーション実践展開プロジェクト 40
 ⑧ 可能性の宝庫・徳島！アワーケーション実装事業
 ⑧ 遊びの中からビジネス創出！四国の右下・徳島アワーケーション事業
 ⑧ 徳島・にしアワーケーション・フィールド推進事業
- (46) ⑧ 徳島でリスタート！移住交流のさらなる加速 41
 ⑧ みんなでリスタート！#徳島移住促進事業
 ⑧ サブスクで移住者の「住まい」と「移動」まるごとサポート事業
 ⑧ きっと見つかる！リタイアインフラで理想の徳島暮らし体感事業
- (47) 農林水産業「次世代人材」育成・確保事業 42
 とくしま農林水産未来人材スクール魅力発信事業
 アグリビジネスアカデミー運営費
 とくしま林業アカデミー事業
 ⑧ とくしま漁業アカデミー活性化支援事業
 とくしま漁業アカデミー運営事業
 ⑧ 5G活用！スマートファーマー育成事業（再掲）
 ⑧ かんきつテラススマート農業交流事業
 とくしま林業リカレント支援事業
 人づくり革命・漁業リカレント事業
- (48) ⑧ 「#徳島」実践！とくしま魅力発信プロジェクト 43
- (49) みなみで総活躍！まち・ひと・しごと次代承継事業 44
- (50) ⑧ 「徳島・にし阿波」でリスタート！人材育成・定着支援事業 45

◆「結婚、妊娠、出産、子育て」の希望が叶う環境づくり

- (51) こうのとりに応援事業＜不妊治療・不育症検査費用助成事業＞ 46
- (52) 新たな婚活スタイルへの対応 47
 ⑧ オンライン婚活基盤整備事業
 とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業
- (53) ⑧ チーム育児推進！事業 48
- (54) ⑧ 未来へ繋ぐ！保育現場サポートプロジェクト 49
 ⑧ 未来の保育士定着促進事業
 ⑧ 保育士試験対策講座実施事業
 とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業

◆「あわ文化・スポーツレガシー」の創造と継承

- | | | |
|------|--|----|
| (55) | ⑧ 「新ホール」及び「新たな青少年センター」の整備 | 50 |
| | ⑧ 新ホール整備事業 | |
| | ⑧ 青少年センター機能移転事業 | |
| (56) | ⑧ 新駅設置検討事業 | 51 |
| (57) | ⑧ 未来へ継承！新たな時代の「国際スポーツ大会レガシー」の創出 | 52 |
| | ⑧ 新たな時代の東京2020大会事前キャンプ受入事業 | |
| | ⑧ 新たなスポーツ大会・合宿スタイル実践事業 | |
| | ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備加速化事業 | |
| (58) | ⑧ 徳島ならではの「あわ文化」の力の結集による未来の創造 | 53 |
| | ⑧ 「あわ三大音楽」とくしま魅力創出発信事業 | |
| | ⑧ 地域連携音楽コーディネート事業 | |
| | ⑧ 文化資源をつなぐ「あわ文化」とくしま魅力発見事業 | |
| | ⑧ 徳島の「阿波人形浄瑠璃」国内外派遣事業 | |
| | ⑧ 「あわ文化」とくしま未来創造事業 | |
| | ⑧ 「吉野川・あわ文化」を巡るとくしま文化観光推進事業 | |
| | 徳島県民文化祭開催事業 | |
| | ⑧ とくしま「eスポーツ」推進加速化事業 | |
| (59) | 「すべての子どもたちに学びの保障を！」学校教育活動部活動事業【P.12再掲】 | |
| | 部活動指導員配置促進事業 | |

◆ニューノーマル観光誘客の推進

- | | | |
|------|-----------------------------------|----|
| (60) | ⑧ ニューノーマルに対応した新たな観光誘客の推進 | 54 |
| | ⑧ “ニューノーマル”誘客プロモーション事業 | |
| | 「旅マエ」のとくしま魅力発信強化事業 | |
| (61) | ⑧ 四国DC周遊観光キャンペーン事業 | 55 |
| (62) | ⑧ アフターコロナ航空戦略事業 | 56 |
| (63) | ⑧ 進化する！「新たな海上交通」実証運航（第二幕）事業 | 57 |
| (64) | ⑧ 大阪・関西万博に向けた魅力発信加速化事業 | 58 |
| (65) | ⑧ 東京・関西発！徳島「魅力発信」×「ファン創出・拡大」事業 | 59 |
| | ⑧ 歴史の絆を新たなミライへ！首都圏で「阿波とくしま」魅力発信事業 | |
| | ⑧ 関西発！「徳島ファン」が拓げる「徳島ファン」創出事業 | |
| (66) | 未来につなげる広報広聴事業 | 60 |
| | ⑧ とくしまPR広告創出事業 | |
| (67) | 新生・博物館“驀進（バクシン）”事業 | 61 |
| | 県立博物館新常設展構築事業 | |
| | ⑧ グランドオープン!!博物館“驀進（バクシン）”事業 | |
| | 日本最古級恐竜化石含有層調査・発信プロジェクト | |
| (68) | 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業 | 62 |
| (69) | 夢と感動を！徳島ヴォルティスJ1事業 | 63 |

◆経済好循環とくしまづくりの推進

- (70) ⑧ 新時代を拓く とくしまブランドの展開【P. 25再掲】
 - ⑧ 卸売市場等と連携したリテール販売促進事業
 - とくしま「阿波ふうど」新しい物流促進事業
 - ⑧ とくしまブランド新商流構築事業
 - ⑧ とくしまエシカル農産物ターゲットセールス推進事業
- (71) ⑧ 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」推進事業 64
- (72) ⑧ 経営者の想いをつなぐ事業承継支援事業 65
- (73) 徳島県地域産業活性化事業 66
- (74) WEBフル活用・中小企業海外販路開拓支援事業【P. 10再掲】
 - 中小企業海外展開トータルサポート事業
 - ものづくり企業海外展開支援事業
 - 世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業
- (75) 最先端映像技術を活用したクリエイティブ産業の集積【P. 36再掲】
 - クリエイティブ産業育成事業
- (76) ポストコロナを見据えた「資金繰り」支援【P. 7再掲】
 - 中小企業金融円滑化推進費

3 県土強靱化加速・安心して暮らせる社会の実現

◆「脱炭素社会」の実現加速と気候変動への適応

- (77) 気候危機を迎え撃ち脱炭素をリードする「環境首都とくしま」 67
 ④ 「緩和」×「適応」で挑む気候変動対策推進事業
 ④ 水素エネルギー「新時代」展開加速事業
 ④ ゼロカーボンシティ推進事業補助金
- (78) 気候変動に打ち克つ！持続可能な農林水産業 68
 気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト
 勝ち抜く！園芸産地強靱化事業（再掲）
 魚づくり革命・もうかる養殖魚創出事業

◆地方創生の礎！「強靱とくしま」の加速

- (79) 災害列島を迎え撃つ「国土強靱化」の推進 69
 ④ 事前復興推進事業
 ④ 複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業
 ④ 「awa臨港プロジェクト」徳島東部防災拠点施設等改修事業
- (80) 感染症に強いニューノーマルとくしまの実現【P.9再掲】
 ④ 複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業
 危機管理調整費
- (81) 「フェーズフリー」の推進による県民防災力の強化 70
 ④ 「フェーズフリー」×DX推進事業
 ④ とくしまゼロ作戦LINE公式アカウント開設事業
- (82) ④ awaもくよんプロジェクト（徳島県新浜町団地建替PFI事業） 71

◆「新次元の消費者行政・教育」の深化

- (83) SDGsの実現に向けた新次元の消費者政策の加速【P.26再掲】
 ④ 新しい未来へ！徳島がはじめるSDGs実践プロジェクト
 ④ 世界とつながる！消費者行政・消費者教育国際連携ネットワーク強化事業
 ④ 世界の架け橋へ！とくしま消費者政策グローバル化推進事業

◆人生100年時代！「健康長寿とくしま」の推進

- (84) 地方独立行政法人徳島県鳴門病院運営事業 72
- (85) ④ 救急搬送支援システム整備事業 73
- (86) 県立中央病院ER棟整備推進事業 74
- (87) ④ 生涯健康とくしまを目指す生活習慣病等対策事業 75
- (88) ④ 骨髄等移植ドナー支援事業 76

◆「ダイバーシティとくしま」の実装

- (89) 未来にはばたけ！障がい者就労促進事業 77
障がい者いきいき活躍就労促進事業
とくしま農福連携ネットワーク加速化事業
- (90) 誰もが活躍！「ダイバーシティとくしま」の推進 78
⑧ ダイバーシティとくしま実装事業
東京2020パラリンピック・芸術文化活動応援事業
とくしま共生アートプロジェクト推進事業
⑧ アール・ブリュット作品購入プロジェクト
- (91) 新時代対応！国府支援学校整備事業 79
- (92) ⑧ 新たな男女共同参画推進拠点の展開 80
⑧ 男女共同参画総合支援センターデジタル化実装事業
女性・若者が主役へ！地域参画人財育成事業
⑧ 子ども・若者育成支援強化推進事業
- (93) 未来につなげる広報広聴事業【P. 60再掲】
⑧ ダイバーシティ対応型広報推進事業
⑧ 県HPユーザビリティ向上事業

◆安全安心な地域づくりの推進

- (94) ⑧ 支援をつなぐ！犯罪被害者等サポート事業 81
- (95) ⑧ 困難な環境にある子どもやひとり親家庭の支援強化【P. 22再掲】
⑧ こども未来応援プラン推進事業
- (96) SDGsの実現に向けた新次元の消費者政策の加速【P. 26再掲】
⑧ 次世代に繋ぐアニマルパートナーシップ事業
- (97) ⑧ 「生きることの包括的な支援」を推進する取組み【P. 17再掲】
「徳島県自殺者ゼロ作戦」推進事業
- (98) 高病原性鳥インフルエンザ緊急対策事業 82

⑧ 「新しい生活様式」実装推進事業 ～飲食店応援事業～



【令和2年度1月補正額 1,737,000千円】

1 目的

1月の「緊急事態宣言」により、対象11都府県に対し、「感染リスクが高い」と指摘されている「飲食の場」を避ける観点から、「飲食店の営業時間短縮」などの強力な措置が要請され、本県においても、飲食店の経営に深刻な影響が懸念される。

また、政府の「基本的対処方針」では、緊急事態宣言が発出されていない都道府県においては「感染拡大の防止」と「社会経済活動の維持」との両立を持続的に可能とするため、「新しい生活様式」の定着を図ることとされていることから、感染拡大防止に積極的に取り組んでいる飲食店に応援金を助成する。

2 事業内容

「新しい生活様式」実装推進応援金

○対象業種 飲食店または喫茶店の営業許可を有する事業者（県内事業者限定）

○対象期間 令和3年2月1日から、緊急事態宣言解除日または令和3年2月28日までのいずれか遅い日まで

○助成要件及び金額

①「ガイドライン実践店ステッカー」を申請し、
対象期間中に掲示を行う店舗 50万円

②「事業者版スマートライフ宣言」の掲示を
対象期間中に行う店舗 10万円

※①または②は、いずれか1回のみ申請可

○申請期間 令和3年2月1日から対象期間終了後の2週間後まで

新 県民限定「もっと！とくしま応援割」の創設



【令和2年度1月補正額 350,000千円】

- 1 目的 コロナ禍が長期に及ぶ中、これまでの「とくしま応援割」や「GoToトラベル・タイアップ事業」の成果・ノウハウを活かし、GWを見据え、県内観光需要を切れ目なく喚起するとともに、県民の方々に本県の魅力を再発見していただくため、これまでの応援割をより使いやすく、拡充した宿泊割引制度「もっと！とくしま応援割」を創設する。
- 2 事業内容 県内の在住者が、期間中、県内宿泊施設で宿泊する場合、上限額の範囲で宿泊料を助成するとともに、登録施設(飲食店や土産物店、観光施設等)で利用できるクーポンを提供する。
- (1) 期間：令和3年3月1日(月)～5月31日(月)
- (2) 規模：上限10,000円/人泊(宿泊割+周遊クーポン)
3万人泊分
※連泊については、1回あたり「3連泊」まで、「2回」まで対象
- (3) 内容：
- 宿泊割
 - ・ 上限5,000円/人泊(施設内の飲食、土産物購入を含む。)
 - ・ 「県新型コロナ条例」に基づき感染予防対策に積極的に取り組む宿泊施設を募集、登録(感染拡大予防がトライン実践店ステッカー、事業者版スマートライフ宣言の掲示等)
 - 周遊クーポン
 - ・ 上限5,000円/人泊(宿泊料の範囲内で提供、500円単位)
 - ・ 宿泊施設外での飲食や土産物購入、観光施設入場料、交通費(タクシー、ジャンボタクシー、いなか等)などを対象
 - ・ 紙クーポン(券種：500円)で提供
 - ・ 3日間有効(チェックイン時に提供)

担当：観光政策課



安心実感！「公共交通利用回復支援事業」



【令和2年度1月補正額 600,000千円】

- 1 目的 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令やGoToトラベル停止等により、事業経営に大きな影響が生じている公共交通事業者の事業継続に向け、「安全安心な運行の推進」や「利用促進・情報発信」に取り組み、「業と雇用の維持・確保」を図る。
- 2 事業内容
- (1) 安全安心な運行の推進**
WITHコロナ期における、
県民の公共交通利用への不安感を払拭するための取組みを支援する。
- ①航空における安全安心な運航の推進
路線維持に向けた感染防止対策への支援
 - ②バス、鉄道における安全安心な運行の推進
 - ・幹線系統バスにおける感染防止対策への支援
 - ・鉄道や路線バスの混雑解消のための増車、増結等や貸切バスのスマート利用への支援
- (2) 利用促進・情報発信**
公共交通の需要回復を図るため、利用促進や情報発信に取り組むとともに、新規利用者の獲得に取り組む事業者を支援する。
- ①とくしまプレミアム交通券の発行
県内公共交通機関等の需要を喚起するプレミアム交通券の発行
 - ②新需要創出・情報発信
地域や事業者との連携による、ニーズに応じた利用促進や情報発信
 - ・ヴォルティスの試合と連動した特別利用キャンペーンの実施
 - ・新規利用者獲得に向けた特別企画チケット等の造成支援
 - ・利用促進に向けたプロモーションやキャンペーンの事業者との共同実施
 - ・県民の公共交通利用を促す意識醸成のための情報発信 等

担当：次世代交通課

WITHコロナ・アフターコロナ時代における農畜産業支援の展開



【令和3年度当初予算額 3,000千円】
 【令和2年度1月補正額 165,000千円】
 【令和2年度2月補正額 4,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、本県農畜産物等は「需要の縮小」や「販路の喪失」、さらには「市場価格の低迷」など様々な影響を受けている。そこで、コロナ禍においても安定的な生産販売を促進し、さらにはWITHコロナ、アフターコロナ時代における新たなニーズへの対応など、次のフェーズを見据えての取組みを進めるため、各業種の事業者における現状に即した需要喚起、販路開拓等の支援策を実施する。

- 2 事業内容**
- (1) ① 徳島県産香酸柑橘等の産地強化支援事業 55,000千円**
 外食需要が主体の香酸柑橘等について、コロナ禍においても安定的な生産販売を図るため、遠隔消費地をターゲットとした販促強化等、新たな販路開拓を促進するとともに、鮮度・品質保持の輸送方法の確立や品質向上対策に取り組む。
 - (2) ① 徳島県産花きの需要喚起応援事業 10,000千円**
 新たな生活様式に対応し、県産花きの需要喚起を図るため、リモートによるフラワーアレンジメント教室をはじめ、花きの楽しみ方を広める企画や展示等を実施する。
 - (3) ① ニューノーマルに対応した徳島県産花きの新たな需要創出・開拓事業 3,000千円**
 家庭など個人消費の拡大等の新たな需要に対応するため、業務需要向けの規格や出荷が主の県産花きについて、個人消費向けに適した企画商品の開発や販路開拓に取り組む。
 - (4) ① 「新しい生活様式」に適応した徳島県産畜産ブランド販路拡大強化事業 100,000千円**
 「県産和牛」「阿波尾鶏」及び「阿波とん豚」等の県産畜産ブランドについて、外食産業等と連携した販路拡大、認知度向上の取組みや、学校給食への提供支援を行う。
 - (5) ① 徳島「阿波地美栄」消費回復・販路開拓事業 4,000千円**
 新しい生活様式に合わせ、新たな販路である家庭等での消費拡大を図るため、「阿波地美栄」を活用した加工品商品開発等に取り組む。

担当：もうかるブランド推進課、鳥獣対策・ふるさと創造課、畜産振興課

WITHコロナ・アフターコロナ時代における林業・木材産業支援の展開



【令和3年度当初予算額	10,000千円】
【令和2年度1月補正額	50,000千円】
【令和2年度2月補正額	54,000千円】

1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅需要や木材価格の低迷が続く中、林業・木材産業者の雇用と事業の継続を図る必要がある。
 このため、川上では、林業者の山仕事を確保し、生産活動の維持につなげるほか、川中では、滞留木材を活用した木造仮設住宅の資材を備蓄するとともに、川下においては、木造住宅での県産材の需要喚起に取り組む。

2 事業内容

(1) 山の仕事を守るコロナ対策緊急支援事業 50,000千円

木材の需要や価格の低迷が続く中、コロナ収束後の速やかな事業再開に向けた生産体制を構築するため、作業道の整備やドローンによる森林調査など、生産活動の基盤整備を支援する。

(2) ① 木造応急仮設住宅事前復興事業 54,000千円

県産材の新たな需要創出と、災害時の迅速な応急仮設住宅の建設を進めるため、居住性に優れ再利用が可能な木造仮設住宅モデル「板倉構法」の建築資材を備蓄する。

(3) ① 使おう県産材！「徳島すぎの家」普及拡大事業 10,000千円

住宅等への県産材のさらなる需要創出を図るため、「徳島すぎの家」づくりに賛同する工務店等と連携し、リモートによる完成見学会や相談会の実施など「新しい生活様式」に対応した普及啓発を展開する。

WITHコロナ・アフターコロナ時代における水産業支援の展開



【令和2年度1月補正額 140,000千円】

1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響による「魚価安」や「在庫の滞留」に加え、主力魚種である「アワビ」「アジアカエビ」などの不漁にも見舞われ、漁業関係者は、苦境に立たされている。

さらに、「第3波」の到来で、外食向けの「高級魚」や「養殖魚」などの需要低迷は、長期化することが懸念される。

そこで、厳しい局面にある漁業関係者の事業継続を図るため、アフターコロナを見据え、県産水産物の「需要喚起」に向けた「販売促進活動」を支援する。

2 事業内容

届け「海の幸」需要回復推進事業

140,000千円

(1) 徳島のおさかな出前食育事業

「出前食育活動」に合わせ、学校給食に県産水産物を提供する際に必要な食材費や運搬費等を支援する。

(2) 徳島のおさかな販売チャネル拡大事業

「産地直送 通販サイト」における県産水産物の「お試し価格」での販売や「送料無償化」等を支援する。

(3) オール徳島！「海の幸」PR事業

県内外において、県産水産物のPR活動を実施する際に必要な資材費、魚食普及のための試供品費等を支援する。

担当：水産振興課

ポストコロナを見据えた「資金繰り」支援



【令和3年度当初予算額 26,390,173千円】

1 目 的 コロナ禍における県内中小企業者等の事業継続や経営の安定を図るとともに、「新たな日常」に対応した事業転換や新分野展開を促進するため、「中小企業向け融資制度」を通じた円滑な資金調達を支援する。

2 事業内容 **(1) 中小企業振興資金貸付金 22,931,000千円**

創業から成長・発展、さらに事業承継やM&Aなど、企業のライフステージに応じたきめ細やかな資金繰り支援を行い、県内中小企業者等の事業継続と最先端のデジタル技術を活用したビジネスモデルへの転換を促進する。

⑨「DX促進資金」の創設

ポストコロナに対応した事業転換や新分野展開を促進するため、デジタル技術活用によるビジネスモデルへの転換等を支援する「DX促進資金」を創設する。

- ▶融資利率：年1.50%以内 ▶保証料率：年0.30%～1.15%
- ▶融 資 額：2.8億円以内

- 「創業者無担保資金」による起業・創業の促進
- 「事業引継ぎ支援資金」による円滑な事業承継 など

(2) 中小企業金融円滑化推進費 459,173千円

中小企業者等の信用力・担保力不足を補うための保証料負担を軽減するため、保証料引き下げ分への一部補助を行う。

(3) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業 3,000,000千円

コロナ禍の影響で、売上が減少した県内中小企業者等の事業継続を支援するため、「新型コロナウイルス感染症対応資金」当初3年間の利子補給を行う。

担当：企業支援課

新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業



【令和3年度当初予算額 30,000千円】

【令和2年度2月補正額 21,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響で、非正規雇用労働者を中心に厳しい雇用情勢にあることから、幅広い世代を対象に「雇用の安定化」を促進支援する。

2 事業内容

(1) 支援体制の構築

- 専門の支援員が、サポステや福祉機関、ハローワーク等関係機関と連携し、支援対象者の発掘、面接会への参加推進など、正規雇用に向けたフォローを行う。
- 国・県の助成金制度をはじめとする行政支援策等を周知する「セミナー」を実施するとともに、県内企業と支援対象者とのマッチングを図るための「就職面接会」を開催する。
- 協力企業において「職場体験」を実施し、支援対象者と企業とのマッチングの円滑化を図り、県内企業における正社員雇用を促進する。

(2) 正規雇用に向けた助成（自社における正社員化）

企業内の非正規雇用労働者を正規雇用労働者に転換させた企業に対し、国が支給する「キャリアアップ助成金（正社員化コース）」の2分の1相当額の上乗せ助成を行う。

▶支給額：6か月定着後1人あたり

有期→正規	285,000円（中小企業）	*国570,000円
	213,750円（大企業）	*国427,500円
無期→正規	142,500円（中小企業）	*国285,000円
	106,875円（大企業）	*国213,750円

(3) 正規雇用に向けた助成（自社以外からの雇い入れ）

幅広い世代を対象に、自社以外から非正規雇用労働者や失業状態の方を正規で雇い入れ、定着を図る企業に対し助成を行う。なお、就職氷河期世代の方については、国助成金と連携し集中的な支援を行う。

▶支給額：6か月定着後1人あたり

	300,000円（中小企業）	*国600,000円
	250,000円（大企業）	*国500,000円

担当：労働雇用戦略課

感染症に強いニューノーマルとくしまの実現



【令和3年度当初予算額 43,000千円】

【令和2年度2月補正額 73,200千円】

1 目的

感染症に強いニューノーマルとくしまを実現するため、新型コロナウイルス感染症対策や条例の浸透・定着に向け、周知・啓発を図る。

加えて、避難所における感染症対策やコロナ禍の救急搬送体制の強化を推進する。

2 事業内容

(1) ①(新) 新型コロナウイルス感染症対策の周知・啓発 33,000千円

○新型コロナウイルス対策の取組みや条例の実効性向上を図るため、県民・事業者に対し周知啓発を行う。

①(新) 新型コロナウイルス感染症対策啓発事業

- ・ テレビCM、新聞等のメディア活用や動画配信
- ・ ガイドライン実践店舗の更なる拡大に向けた啓発活動

②(新) 生活衛生関係営業アフターコロナ対応強化事業

- ・ 感染拡大防止と客足回復のため、営業者と消費者を交えたセミナーを開催

(2) ①(新) 複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業 157,000千円の内数

○避難所の3密を避ける「分散避難」を推進するため、市町村の取組みを支援する。

① 民間連携サブ避難所確保事業

- ・ 民間事業所を避難所として活用するため、必要となる改修費の一部を助成

② WITH・コロナ事前避難促進事業

- ・ 要配慮者の「事前避難」を促進するため、ホテル・旅館の宿泊費の一部を助成

(3) ①(新) 救急搬送体制安心支援事業 5,700千円

○救急搬送に必要な感染防止資器材を確保する。

- ・ 感染防止資器材を備蓄し、市町村での調達が困難な場合において迅速に支援

(4) ①(新) 危機管理調整費 20,000千円

○感染拡大により新たに生じる事象に機動的に対応する。

WEBフル活用・中小企業海外販路開拓支援事業



【令和3年度当初予算額 63,918千円】
 【令和2年度2月補正額 9,500千円】

1 目的 「越境EC」や「WEB商談」、「リモートでの販促プロモーション」など「ニューノーマル」の手法を駆使することにより、コロナ禍に直面した県内事業者の海外販路開拓を強かに支援する。

- 2 事業内容
- (1) (新) オンラインで拓く！ 拡げる！ 海外販路開拓事業 9,500千円**

市場規模が拡大する「越境EC」への出店を支援

 - 海外見本市情報をはじめ、ターゲットとする購買層や価格帯等をプロから学ぶセミナー
 - 商品の良さをリアルに伝える「映像コンテンツ」作成費等助成
 - インフルエンサーによる「ライブコマース」などの「セールスプロモーション」
 - 海外大手ECサイトの有力バイヤーとの「WEB商談会」
 - (2) 中小企業海外展開トータルサポート事業 18,300千円**

友好交流10周年の湖南省や台湾など東アジアをターゲットに県産品の販路開拓を支援

 - 現地政府機関等と連携した「リモートでの販促プロモーション」や「WEB商談」
 - 「とくしま海外展開支援プラットフォーム」ワンストップ相談でアフターフォロー
 - (3) ものづくり企業海外展開支援事業 4,600千円**

優れた技術を有する県内ものづくり企業の海外市場へのチャレンジを支援

 - タイ、インドネシア、ベトナムで開催される機械金属見本市への「バーチャル出展」
 - 現地企業との「WEB商談」によるビジネスマッチング
 - (4) 世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業 41,018千円**

県内事業者が徳島にいながら海外との商談を進められるよう、「24時間対応可能」な多言語・電話通訳等による商談支援や、上海事務所やジェトロの海外ネットワークを活用し現地の企業ニーズや輸出に係る最新情報を迅速に発信する。

担当：商工政策課

① 「徳島県GIGAスクール構想」実装事業



【令和3年度当初予算額 101,500千円】
 【令和2年度2月補正額 25,000千円】

1 目的 GIGAスクール構想本格稼働元年を迎え、これまで整備を進めてきた「オンライン教育」環境をフル活用し、平時・有事を問わない「徳島ならではの」教育を実装する。

2 事業内容 (1) ① 徳島県GIGAスクール構想推進事業 93,000千円

徳島県GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台タブレット端末と高速大容量の校内LANを余すことなく活用し、個別最適化された学習環境を整備するため、指導者用デジタル教科書や授業支援ソフト等を導入するとともに、県立学校において、GIGAスクールサポーターを配置（業者委託により、全県をカバー）する。

(2) ① 新時代のハイブリッド型「学び」推進プロジェクト 8,500千円

Society 5.0時代を切り拓き、新たな価値を創造していくために必要な資質・能力を持った人材を育成するため、新高等学校学習指導要領及びGIGAスクール構想の趣旨に則り、学習者用デジタル教科書等を用いた個別最適化学習をはじめ、最先端のICT教育を取り入れた各種プログラムを実施する。

(3) ① 家庭学習のための通信機器整備事業 【2月補正】25,000千円

新型コロナウイルス感染症の拡大や、大規模災害の発生に伴う臨時休業などの緊急時においても、子どもたちの「学びの保障」と「教育の機会均等」を図るため、貸出しが可能な「可搬型通信機器」を学校に整備することにより、家庭で通信環境を準備することができない家庭においても、「オンライン学習」を行うことのできる環境を整備する。

担当：教育政策課、学校教育課、総合教育センター

「すべての子どもたちに学びの保障を！」学校教育活動サポート事業



【令和3年度当初予算額 98,999千円】

1 目的 「学校教育活動の充実」と「働き方改革」を実現するため、多様な外部人材が学校の教育活動に参画し、教職員と連携する取組みを支援する。

2 事業内容 (1) 学びの保障のための学校教育活動事業 47,600千円

一人ひとりの学習定着度に応じたきめ細やかな指導を図るため、授業準備の補助やTT（チーム・ティーチング）指導、放課後等を活用した補習授業、オンライン授業や会議の際のICT機器活用補助等を行う学習指導員（学びサポーター）を配置する。

・ 学習指導員（学びサポーター）の配置 国1/3 県2/3

(2) スクール・サポート・スタッフ配置促進事業 17,500千円

教員の業務支援を行い、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教員の「働き方改革」の実現を図るため、市町村立小中学校におけるスクール・サポート・スタッフの配置を支援する。

・ スクール・サポート・スタッフの配置 国2/9 県4/9 市町村1/3

(3) 部活動指導員配置促進事業 33,899千円

部活動の質的な向上や活性化を図るとともに、教員の業務負担軽減につなげるため、専門的な知識・技能を有し、単独での指導や引率ができる部活動指導員を配置する。

・ 部活動指導員の配置
 県立： 国1/3 県2/3
 市町村立： 国1/3 県1/3 市町村1/3

① 感染症対策等学校教育活動継続事業



【令和2年度2月補正額 98,800千円】

- 1 目的
- 学校における感染症対策を強化し、冬季における感染症拡大リスクを最小限にするため、保健衛生用品等を追加購入する。
- また、コロナ禍に対応するための教職員の資質向上を図るため、臨時休業の長期化に伴い、夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対し、新型コロナウイルス感染症対策にも資する研修等への参加機会を確保する。

2 事業内容

(1) 学校における感染症対策

- ・ 消毒液や非接触型体温計等の保健衛生用品等の追加的購入
- ・ 教室の3密対策に要するサーキュレーター及びCO₂モニターの購入
- ・ 教職員の負担軽減を図るため、消毒作業の外注に要する経費 など

(2) コロナ対策等に資する教職員研修等

- ・ 感染症対策等に資する研修等の開催・参加
- ・ オンライン学習等に資するICT研修等の開催・参加 など

※実施内容については、県立学校長の判断で柔軟・迅速に対応

私立学校振興事業



【令和3年度当初予算額 1,037,674千円】

【令和2年度2月補正額 19,500千円】

1 目 的 全ての意思ある高校生等が安心して教育を受けることができる環境を構築するため、家庭に対する授業料の軽減補助等を行うとともに、私立学校等の魅力ある学校づくりに向けた取組み等に対する助成を行う。

2 事業内容 (1) 家庭に対する支援 327,151千円

家庭の経済状況にかかわらず、子どもたちの学びを保障するため、低所得世帯等を対象に、家庭における教育費の負担軽減を図る。

⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮している世帯に対し、「授業料軽減補助」や「給付金の増額」など支援拡充

(2) 学校に対する支援 730,023千円

① 私立学校運営費補助金等 713,523千円

私立学校及び専修学校（高等課程）の教育条件の維持向上や経営の安定化、魅力ある学校づくり等を推進するため、運営費等に対する助成を行う。

⇒ 新型コロナウイルス感染症への対応として「学習指導員等の追加的人材」を配置する学校への支援を拡充

⇒ 新たに県HPで発信（「私学魅力アップ事業」の取組みを中学生等に紹介）

② ① 私立学校WITHコロナ支援事業 16,500千円

「WITHコロナ時代」の学びを保障するため、保健衛生用品の購入など、私立学校が行う「WITHコロナ対策」の徹底に係る取組みを支援する。

① 新型コロナウイルスワクチン接種体制構築事業



【令和2年度1月補正額 22,082千円】

- 1 目的 新型コロナウイルスワクチンが実用化された際、迅速かつ適切に接種を行うため、必要となる接種体制を構築する。
- 2 事業内容
- (1) ワクチン接種体制構築 21,082千円**
 - 新型コロナウイルスワクチンについて、円滑に接種できる体制を構築し、迅速かつ適切に接種を行うため、市町村・関係団体と連携し、医療従事者等への接種体制の調整・確保を行うとともに、専門的相談体制の整備や広報等を実施する。

 - (2) 卸売業者の流通調整 1,000千円**
 - 新型コロナウイルスワクチンの実用化に備え、ワクチン流通の調整に向け、卸売業者や医療関係団体等の関係者と円滑に協議・連携できる体制を構築する。

新型コロナウイルス感染症対策（医療提供体制の確保）



【令和3年度当初予算額 18,031,313千円】

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------|--|--------------------------|---------------------|-----------------|--------------|---|--|-----------------|-------------|---|--|------------|-------------|---|--|--------------------------|----------|--|--|---------------------|------------------|---------------------|--|--|--|
| 1 | 目 的 | 新型コロナウイルス感染症への対応として必要となる医療提供体制を確保するため、患者受入に係る空床確保料補助や軽症者等の宿泊療養体制維持等、引き続き支援施策を展開する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 事業内容 | <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">（1）医療提供・入院受入体制の強化</td> <td style="text-align: right; background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">17,581,313千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">① 入院患者のための病床確保等</td> <td style="text-align: right;">13,684,786千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">○ 新型コロナウイルス感染症患者専用の病棟等を設定する「重点医療機関」等に対し、新型コロナウイルス感染症患者受入体制確保のため、患者を受け入れていない病床に対する「空床確保料」の補助や、医療チームによる支援を行う。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">② 軽症者等の宿泊療養体制確保</td> <td style="text-align: right;">2,238,112千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">○ ホテルの借上げやリタイアインフラの活用等により、「軽症者等の宿泊療養施設」と「医療従事者等の一時滞在施設」を確保することで、入院受入医療機関等の負荷を軽減し、適切な医療提供体制の整備を図る。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">③ 医療資機材等整備</td> <td style="text-align: right;">1,635,215千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">○ 「重点医療機関等」において、新型コロナウイルス感染症患者に高度かつ適切な医療を提供するため必要な医療資機材等の整備を行う。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">④ 休業等となった医療機関に対する継続・再開支援</td> <td style="text-align: right;">23,200千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">○ 新型コロナウイルス感染症により休業等となった医療機関に対し、継続・再開時に必要な対策に要する経費を支援する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">（2）医療従事者への支援</td> <td style="text-align: right; background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">450,000千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">① 医療機関等感染症対応従事者への支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">○ 新型コロナウイルス感染症患者等の診療及び看護に直接従事した医療従事者に対し、各医療機関から支払われる「特殊勤務手当(危険手当)相当分」の補助を行う。</td> <td></td> </tr> </table> | （1）医療提供・入院受入体制の強化 | 17,581,313千円 | ① 入院患者のための病床確保等 | 13,684,786千円 | ○ 新型コロナウイルス感染症患者専用の病棟等を設定する「重点医療機関」等に対し、新型コロナウイルス感染症患者受入体制確保のため、患者を受け入れていない病床に対する「空床確保料」の補助や、医療チームによる支援を行う。 | | ② 軽症者等の宿泊療養体制確保 | 2,238,112千円 | ○ ホテルの借上げやリタイアインフラの活用等により、「軽症者等の宿泊療養施設」と「医療従事者等の一時滞在施設」を確保することで、入院受入医療機関等の負荷を軽減し、適切な医療提供体制の整備を図る。 | | ③ 医療資機材等整備 | 1,635,215千円 | ○ 「重点医療機関等」において、新型コロナウイルス感染症患者に高度かつ適切な医療を提供するため必要な医療資機材等の整備を行う。 | | ④ 休業等となった医療機関に対する継続・再開支援 | 23,200千円 | ○ 新型コロナウイルス感染症により休業等となった医療機関に対し、継続・再開時に必要な対策に要する経費を支援する。 | | （2）医療従事者への支援 | 450,000千円 | ① 医療機関等感染症対応従事者への支援 | | ○ 新型コロナウイルス感染症患者等の診療及び看護に直接従事した医療従事者に対し、各医療機関から支払われる「特殊勤務手当(危険手当)相当分」の補助を行う。 | |
| （1）医療提供・入院受入体制の強化 | 17,581,313千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 入院患者のための病床確保等 | 13,684,786千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 新型コロナウイルス感染症患者専用の病棟等を設定する「重点医療機関」等に対し、新型コロナウイルス感染症患者受入体制確保のため、患者を受け入れていない病床に対する「空床確保料」の補助や、医療チームによる支援を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 軽症者等の宿泊療養体制確保 | 2,238,112千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ ホテルの借上げやリタイアインフラの活用等により、「軽症者等の宿泊療養施設」と「医療従事者等の一時滞在施設」を確保することで、入院受入医療機関等の負荷を軽減し、適切な医療提供体制の整備を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 医療資機材等整備 | 1,635,215千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 「重点医療機関等」において、新型コロナウイルス感染症患者に高度かつ適切な医療を提供するため必要な医療資機材等の整備を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 休業等となった医療機関に対する継続・再開支援 | 23,200千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 新型コロナウイルス感染症により休業等となった医療機関に対し、継続・再開時に必要な対策に要する経費を支援する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （2）医療従事者への支援 | 450,000千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 医療機関等感染症対応従事者への支援 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 新型コロナウイルス感染症患者等の診療及び看護に直接従事した医療従事者に対し、各医療機関から支払われる「特殊勤務手当(危険手当)相当分」の補助を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

担当：保健福祉政策課、医療政策課、健康づくり課

新「生きることの包括的な支援」を推進する取組み
 ～SOSのサインに気づき、支援につなぐ、いのち支える社会環境づくりの強化～



【令和3年度当初予算額 39,799千円】
 【令和2年度2月補正額 1,000千円】

1 目 的 W I T Hコロナ時代において、「誰も自殺に追い込まれることのない”暮らしやすい徳島”」を実現するため、セーフティネット強化により社会全体の自殺リスクを低下させる。

2 事業内容 **(1) 新 W I T Hコロナ時代の心のケア支援事業 10,548千円**

- メンタルヘルスに関する相談体制の強化
 - ・精神保健福祉センターの専任相談員の増員
 - ・無料通話アプリ（LINE電話）に対応した相談窓口の設置支援

- オンラインを活用した活動環境の整備
 - ・各保健所の相談事業におけるWEB会議ツールの活用
 - ・各支援団体におけるオンラインでの活動を促進するためのICT活用支援
 - ・自殺予防に係る相談員の確保やスキルアップ及び関係機関の連携体制構築によるセーフティネット強化

- メンタルヘルスに係る情報の発信
 - ・インターネットや地元メディアを活用したセルフケアの広報啓発
 - ・情報検索サイトの「検索連動型広告」を活用した相談窓口の案内・接続

(2) 「徳島県自殺者ゼロ作戦」推進事業 30,251千円

- 若年層対策（若者の悩み共有事業 他）
- ハイリスク者対策（電話相談員養成事業 他）
- 県民総ぐるみ事業等（「生きる希望」啓発事業 他）

担当：保健福祉政策課、健康づくり課、長寿いきがい課、障がい福祉課

新型コロナウイルス感染症対策（検査・相談体制等の確保）



【令和3年度当初予算額 1,180,389千円】

- 1 目的 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「地域外来・検査センター」などの検査体制及び「24時間体制の一般相談窓口」などの相談体制を継続するとともに、妊産婦への支援として、不安を抱える妊婦への「分娩前のPCR検査」及び感染が確認された妊婦に対する「フォローアップ」などを行う。
- 2 事業内容
- （1）検査体制確保 906,769千円**
- 引き続き、地方衛生研究所におけるPCR検査等を行うとともに、アクセスよく検査が受けられる体制を維持するため、「地域外来・検査センター」等の運営を継続し、感染者の早期発見につなげる。
- （2）相談支援体制確保 267,820千円**
- 引き続き、スムーズな検査の受検及び県民の不安解消を図るため、24時間体制の「受診・相談センター」や「一般相談窓口」を運営するとともに、LINE等を活用し、県民の皆様へ正確かつ迅速な情報発信を行う。
- （3）妊産婦の新型コロナウイルス対策支援 5,800千円**
- 新型コロナウイルスに強い不安を抱える妊婦がかかりつけ産科婦人科医と相談し、本人が希望する場合に、分娩前にPCR検査を受けるための費用を補助する。
 - 新型コロナウイルスに感染した妊産婦に対し、退院後、保健師等が定期的な自宅への訪問や電話相談等による育児支援を行うことにより、不安や孤立感の解消を図る。

新型コロナウイルス感染症対策（福祉サービス提供体制の確保）



【令和3年度当初予算額 129,169千円】

1 目的 高齢者、障がい児者やその家族の生活を支える「介護・障がい福祉等サービス」について、施設や事業所等の新型コロナウイルス感染防止と継続的なサービス提供を確保するため、施設等における感染症対策や緊急時の応援体制構築など、引き続き支援施策を展開する。

2 事業内容

（1）福祉サービス提供体制の強化 89,085千円

- ① サービス継続に係るかかり増し経費への支援
 - 施設、事業所等が、感染症対策の徹底とサービスの継続的な提供体制の確保を図るための専門家による研修の実施に係る経費等について支援する。
- ② 施設等の感染拡大防止への支援
 - 感染者が発生した場合等、施設、事業所等における感染拡大防止のための消毒・清掃費用や増員等応援職員に係る経費について支援する。

（2）緊急時の備えの充実 32,984千円

- ① 衛生用品の備蓄等
 - 県において、施設等での感染拡大防止に必要となる消毒液をはじめとする衛生用品等を備蓄する。
- ② 緊急時の支援体制の確保
 - 感染が確認された施設等への応援職員を確保するため、応援体制の構築・調整等を行う。

（3）感染症対策に係る広報・啓発等 7,100千円

- ① 感染症予防に係る広報等
 - 感染症予防と心身の健康を保つため、障がい者等に配慮した広報・啓発等を行う。

担当：国保・自立支援課、健康づくり課、長寿いきがい課、障がい福祉課

緊急時における切れ目のない介護サービスの提供



【令和2年度1月補正額 60,000千円】

- 1 目的 新型コロナウイルス感染症の発生下においても、介護サービスの円滑な提供を継続し、利用者やその家族の安全や生活を守るため、事業所における緊急時の対応、感染拡大防止のための環境整備等に対する支援施策を展開する。
- 2 事業内容
- (1) 高齢者施設の感染拡大防止のための環境整備支援 33,000千円
 - ① ①新施設における感染拡大防止のためのゾーニング環境等整備
感染発生時対応及び感染拡大防止の観点から、玄関室の設置や個室・多床室のゾーニング、面会室の設置といった、生活空間等の分けを行うための環境整備を支援する。
 - (2) 介護サービス事業所等のサービス継続支援 27,000千円
 - ① サービス継続に係るかかり増し経費への支援
利用者や職員に感染者が発生した、又は濃厚接触者に対応した介護サービス事業所・施設等が、サービス提供を継続するため、必要な人員の確保に要する経費や、職員への危険手当支給等のかかり増し経費を支援する。
 - ② 職場環境の復旧・環境整備に係る経費支援
利用者や職員に感染者が発生した事業所・施設等における、消毒や清掃に要する経費や、通所系サービスの代替サービス提供に伴う初動費用を支援する。

担当：長寿いきがい課

ふるさと回帰「絆」強化緊急支援事業



【令和2年度1月補正額 40,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染拡大により、再度、大都市部を中心に緊急事態宣言が発出され、対象地域を中心に全国で「外出や移動の自粛」など、本県出身で県外で在住する学生においては、日々の生活にも大きな支障が生じている。

そこで、これらの学生への「緊急的な支援」と、県産品の需要拡大を図るため、令和2年度6月補正予算事業と同様に、県産の農林水産物や加工品など、「ふるさとの味」をお届けする支援措置を再び講じることにより、学生と本県との「絆」をさらに強化し、「ふるさと回帰」をより一層促進する。

2 事業内容

(1) 対象者

徳島県出身で、県外で生活を送っている
大学生、大学院生、高等専門学校生、専門学校生や予備校生



ふるさと回帰「絆」強化事業
(6月補正予算)

(2) 支援内容

本県特産品（農林水産物、加工品）の提供



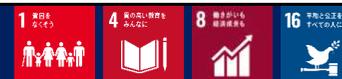
とくしま若者応援サイト
「AWAIRO」

(3) 申込者への要請事項

- ① 若者ポータルサイト「AWAIRO」への登録
- ② 県産品のSNS等での情報発信

担当：総合政策課広域行政室

① 困難な環境にある子どもやひとり親家庭の支援強化



【令和3年度当初予算額 124,505千円】
 【令和2年度1月補正額 175,000千円】
 【令和2年度2月補正額 25,000千円】

- 1 目的 ひとり親家庭の自立と経済的安定及び子どもの最善の利益を実現するため、ひとり親家庭に対する食品無償提供の拡充、SNSやAIの活用による相談体制の整備、就労支援及び地域における社会的養育の充実を図る。
- 2 事業内容
- (1) ① ひとり親家庭子育て応援強化事業 175,000千円 (1月補正)
 児童扶養手当を受給しているひとり親に対象を拡大し、県内事業者から購入した県産食品を無償配布することにより、「ひとり親家庭の生活支援」と「県内の生産者・製造者支援」を実施する。
 - (2) ① ひとり親家庭AI相談実施事業 20,000千円 (2月補正)
 SNS相談窓口を開設し、これにより得たニーズとデータを「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」に活用し、相談支援体制の強化を図るとともに、孤立化を防ぐための「ひとり親サロン」の設置、心理士や地域の支援者等のプッシュ型による「寄り添い支援」を実施する。
 - (3) ① ひとり親家庭就業支援強化事業 5,000千円 (2月補正)
 雇用ニーズが高い「登録販売者資格」を取得するための講習会を開催し、速やかに安定的な就業へ繋げることで、ひとり親家庭の経済的自立を支援する。
 ※登録販売者資格…第2類、第3類の医薬品を販売することができる公的資格
 - (4) ① こども未来応援プラン推進事業 124,505千円
 「徳島県こども未来応援プラン」に基づき、里親支援体制の推進や市町村の相談体制強化、児童養護施設の人材育成・施設整備等を支援する。

担当：次世代育成・青少年課こども未来応援室

生活福祉資金貸付金



【令和2年度1月補正額 1,305,000千円】

1 目 的 新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯の当面の生活費を支援するため、受付期間を延長して特例貸付を実施する。

2 事業内容 **(1) 個人向け緊急小口資金等の特例貸付 (生活福祉資金貸付金) 1,305,000千円**

○新型コロナウイルス感染症の影響によって収入が減少した方を対象に、緊急かつ一時的な生計維持のための生活費の貸付を実施 (緊急小口資金)

・最大20万円

○新型コロナウイルス感染症の影響によって収入が減少し、その収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難になる方を対象に、生活の立て直しまでの一定期間の生活費の貸付を実施 (総合支援資金)

・貸付期間は「原則3か月」

※貸付期間の3月目において、引き続き生活に困窮し日常生活の維持が困難となっている世帯に対し「最大6か月」まで延長可能

・最大120万円 (最大20万円/月×6か月)

○申請受付期間を「令和2年12月末」から「令和3年3月末」まで3か月間延長

中小・小規模事業者向け「新型コロナウイルス感染症」対策



【令和2年度1月補正額 720,000千円】

1 目的 「融資連動型給付金」の期間延長により、県内事業者の「事業継続」を強力に支援するとともに、「新しい生活様式」実装のさらなる定着を促進することで、感染拡大の防止と、社会経済活動の両立を図る。

2 事業内容

(1) WITH・コロナ「新生活様式」導入応援事業 720,000千円

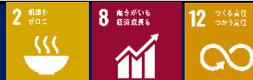
- ▶ 対象者：「新しい生活様式」を導入する県内中小・小規模事業者、個人事業者
- ▶ 助成対象：
 - (1) 安心快適！「顧客空間」創造メニュー 上限100万円
 - (2) 安心快適！「働く空間」創造メニュー 上限50万円
 - (3) 安心快適！「システム導入」メニュー 上限20万円
- ▶ 助成率：10/10（1事業者につき1メニューの申請に限る）
- ▶ 申請期間：令和3年2月10日から令和3年3月31日まで
- ▶ 助成対象期間：令和3年1月30日から令和3年4月30日まで

(2) 新型コロナ対応！企業応援給付金

- ▶ 支給対象者：次の(1)～(3)のすべての支給要件を満たす事業者
 - (1) 令和2年2月以降に、徳島県中小企業向け融資制度「セーフティネット資金」又は「新型コロナウイルス感染症対応資金」による融資を受けている者であること
 - (2) 対象期間の売上が、前年同月比50%以上減少していること
 - (3) 概ね雇用が維持されていること
- ▶ 給付額：融資額の10%（上限100万円）
- ▶ 申請期間：令和3年5月31日まで
ただし、上記融資制度を令和3年3月31日までに保証申込していること

担当：商工政策課

新 新時代を拓く とくしまブランドの展開



【令和3年度当初予算額 44,000千円】
 【令和2年度2月補正額 30,200千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症拡大による消費者の行動変容と、それに伴う需要の変化に柔軟に対応するため、多様な販売チャネルを活用し、コロナ禍での農林水産物の販売拡大に取り組む。

2 事業内容 **(1) 好調な家庭消費を支える市場流通販売チャネルの深化 19,000千円**

関西・首都圏等の市場関係機関と連携し、卸売市場を通じた大消費地への安定した販売の強化を図る。また、東北及び北海道等の遠隔市場における販売拡大につなげるため、航空貨物等の多様な物流手段を活用し、効率的な出荷に向け、産地と連携した体制整備に取り組む。

- ⑧ 卸売市場等と連携したリテール販売促進事業
- ・ とくしま「阿波ふうど」新しい物流促進事業

(2) 発信力の高い販売チャネルを活用したブランディング 25,000千円

首都圏をはじめ大消費地における新たな商流の構築を図るため、販売拡大や産地づくりを担う「とくしまブランド推進機構」の機能を最大限に活用し、県産食材のブランディング強化や生産者と実需者のマッチングを促進する。

- ⑧ とくしまブランド新商流構築事業

(3) 新しい生活様式に対応した販売チャネルの開拓 30,200千円

新しい生活様式に対応した県産品の販売拡大を推進するため、ECサイトや宅配等、県産品の多様な販売チャネルの構築に取り組むとともに、映像コンテンツやリモートツール等、デジタル技術を活用した県産品のプロモーションを展開する。

- ⑧ ECサイト活用促進事業
- ⑧ デジタル技術を活用したセールスプロモーション事業
- ⑧ とくしまエシカル農産物ターゲットセールス推進事業

担当：もうかるブランド推進課

SDGsの実現に向けた新次元の消費者政策の加速



【令和3年度当初予算額 103,000千円】
 【令和2年度2月補正額 11,000千円】

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 目 的 | 社会のデジタル化、国際化が大きく進展する中、社会構造の変化に的確に対応するとともに、持続可能で豊かな消費社会につながる消費者行政・消費者教育を加速する。 |
| 2 | 事業内容 | <p>(1) ① 新しい未来へ！徳島がはじめるSDGs実践プロジェクト 55,000千円
 消費者庁と連携し、全国展開を見据えたモデルプロジェクトの実績を積み上げるとともに、県民の消費生活の向上と全国の模範となる「徳島モデル」を創造する。
 ・成年年齢引下げを見据え若年者を対象とした「消費者トラブル防止啓発動画」を作成
 ・全国の自治体や事業者が集い、エシカル消費等の先進事例を学ぶ「シンポジウム」開催など</p> <p>(2) ① 世界とつながる！消費者行政・消費者教育国際連携ネットワーク強化事業 40,000千円
 消費者庁新未来創造戦略本部の「消費者政策研究・国際業務」と連携するとともに本県の取組みを国内外に発信する。
 ・「とくしま国際消費者フォーラム2021（仮称）」の開催
 ・徳島版国際連携ネットワーク（TIS）や県内高等教育機関等との連携強化など</p> <p>(3) ① 世界の架け橋へ！とくしま消費者政策グローバル化推進事業 6,000千円
 「アジアの消費者政策の拠点」を目指し、ASEANはじめアジア各国の大学や団体等とオンライン交流を行い、将来的な視察団の受入れ等も視野に、連携体制を強化する。</p> <p>(4) ① 消費者トラブルSNS相談事業 5,000千円
 消費者庁新未来創造戦略本部が本県を実証フィールドに展開したモデルプロジェクトの成果を踏まえ、LINEを活用した消費生活相談を本県において実装する。</p> <p>(5) ① 次世代に繋ぐアニマルパートナーシップ事業 8,000千円
 専門的な知識・技術を持つアニマルケースワーカーを地域へ派遣し、飼い主のいない猫の繁殖制限等によって「人と動物がともに暮らせるとくしまづくり」を加速させる。</p> |

担当：消費者政策課、動物愛護管理センター

① ローカル5Gプロジェクト加速事業



【令和3年度当初予算額 98,000千円】
 【令和2年度2月補正額 20,000千円】

1 目的 「遠隔医療」をはじめ、防災や産業分野でのローカル5G技術の実装を図り、地域の課題解決や県内産業の振興、雇用の促進につなげるため、ローカル5G環境を活用し、県内ネットワークの高速化を図る。

- 2 事業内容
- (1) **県立3病院におけるローカル5G環境の完成**
 県立3病院における遠隔医療を更に推進するため、県立三好病院に基地局を設置するとともに、県立病院間に高速ネットワークを設定し、動画像のリアルタイム伝送により、専門医が診断やサポートを行うことができる環境を構築する。
 - (2) **県内ネットワークの高速化**
 オンライン会議等によるネットワークトラフィック急増への対応、サテライトを含む県内オフィスや徳島県医療コンソーシアム等に4K/8Kに対応した高速通信環境を提供するため、「新たな日常」を支える県内ネットワークの高速化を図る。
 - (3) **県庁スケッチブック計画の加速**
 ローカル5Gネットワーク環境を活用し、場所を選ばない「新たな働き方のスタイル」を実現する「県庁スケッチブック計画」を実装するため、5G対応端末をパイロット的に整備する。

担当：スマート県庁推進課

⑧ デジタル社会のパスポート！マイナンバーカード利活用促進



【令和2年度2月補正額 86,000千円】

1 目的 デジタル社会のパスポートたるマイナンバーカードが県民に広く行き届くよう、商業施設等でカードの申請手続きをサポートする。
また、マイナポイントの基盤を活用し、県民の地域活動に対して、地域で消費可能な「自治体版マイナポイント」を付与する。

2 事業内容 (1) ⑧ デジタル社会のパスポート！マイナンバーカード申請サポート事業 80,000千円

国による「QRコード付きマイナンバーカード申請書」の送付に合わせ、着実なカード取得へと繋げるため、県民に身近なショッピングモールやスーパー等において、写真撮影等のカード申請手続きをサポートする「キャラバン」を実施する。

- 写真撮影等の申請手続きのサポートブースを設置（のべ200箇所程度）
- 申請者へのノベルティの進呈
- 「キャラバン」の周知広報



マイナポイント事業サイト

(2) ⑧ マイナンバーカード活用！地域活動応援事業 6,000千円

マイナンバーカードのさらなる利活用を図るとともに、県民の施策参加と地域内消費を促進するため、防災・リカレント教育・健康増進といった地域力向上に繋がる活動に対して、「自治体版マイナポイント」を付与する。

新 デジタル化対応産業教育設備整備事業



【令和2年度2月補正額 1,133,782千円】

- 1 目 的 Society5.0時代における地域の産業を支える職業人材育成を進めるため、
 専門高校においてデジタル化対応設備を整備することにより、
 最先端の職業教育を行う「スマート専門高校」を実現する。
- 2 事業内容
- 対象校
 職業科目（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉）に関する学科
 又は総合学科（職業科目を25単位以上開設）を設置している県立高校（16校）
 - 対象設備（国庫補助率1/3）
 技術革新の進展やデジタルトランスフォーメーション（DX）を見据えた、
 最先端のデジタル化に対応し、かつ、施設と一体的に整備する産業教育設備
 〈主な設備〉
 - ・ 工業関係 5軸マシニングセンタ
 ～コンピュータ制御により全自動で金属を加工したり、
 縦・横・高さの3軸+回転・傾斜の2軸で
 より複雑な加工をすることが可能～
 - ・ 水産関係 小型実習船 ～GPSや電子海図などのデジタル装備を搭載～
 - ・ 農業関係 温室自動化システム
 ～自動制御による作物栽培用システムを導入～
 高性能大型林業機械操作シミュレータ
 ～VRシミュレータにより林業現場を体現～
- など

戦略的企業誘致とDX投資の促進



【令和3年度当初予算額 1,474,900千円】

1 目的 大都市圏からの企業誘致や既存工場の設備強化を推進するため、全国屈指の「光ブロードバンド」をはじめとする優れた立地環境と補助制度を活かし、県内投資を促進する。
また、ポストコロナに対応したビジネスモデルへの転換を促進するため、最先端のデジタル技術を活用した立地企業のDX投資を支援し、県内企業の生産性向上や競争力の強化を図る。

2 事業内容 **(1) 戦略的企業誘致強化事業 23,900千円**
本県の強みを活かした戦略的な産業集積を図るため、東京・大阪で開催する「徳島ビジネスフォーラム」を会場とオンラインを両立させた「ハイブリッド型」で開催する。

(2) 企業立地促進事業費補助金 1,301,000千円
立地企業の「DX投資」及び中小企業が取り組むDX導入によるビジネスモデルの転換を促進するため、設備投資計画や雇用計画に応じた補助制度を創設し、県内製造業の持続的成長を図る。

①DX投資の促進

新「DX促進事業」の創設

【補助対象】

- ▶県内への工場等の新增設に併せて、実施するDXシステム導入事業

【補助率】

- ▶投下固定資産の5%以上～25%以内

新「中小企業DX促進事業」の創設

【補助対象】

- ▶県内中小企業が、雇用を維持した上で取り組むDXシステム導入事業

【補助率】

- ▶投下固定資産の15%

②サテライトオフィス等の誘致強化

○「ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金」の充実

- ▶事業所等不動産資産の賃借料の限度額 30万円/年⇒100万円/年

(3) 情報通信関連事業立地促進費補助金 150,000千円

ポストコロナを見据えた事務事業の地方分散への潮流を県内立地に繋げるため、「調査・企画部門」や「情報処理部門」など本社機能移転に関し、助成額を充実する。

○「情報通信関連事業立地促進費補助金」の充実

- ▶本社機能移転に係る雇用奨励助成額 70万円/人⇒100万円/人

担当：企業支援課

新 徳島ものづくりDX推進事業



【令和2年度2月補正額 15,000千円】

1 目的 コロナ禍で厳しい状況にある本県ものづくり産業の活性化を図るため、生産性の向上、業務プロセスの改善によるイノベーションや高付加価値製品の創出を実現する企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。

2 事業内容 **(1) DX推進の総合的サポート 7,900千円**
 (公財)とくしま産業振興機構を「DX推進拠点」に位置付け、関係機関と連携を図りながら、県内ものづくり企業のDXの取組みを支援する。

- 「DX推進セミナー」の開催<平成長久館事業>
 - ・ 企業のDXに対する知識を深め、意識を高めるための講演会やデジタル技術体験研修、先進企業視察等
- 「先端技術特別展示」の実施
 - ・ 最先端のデジタル技術の紹介や県のDXの取組みを発信
- 「DXワンストップ支援窓口」によるサポート
 - ・ 専門家による相談対応や技術的助言、DX推進計画の策定支援等

(2) DX推進に向けたデジタル技術の導入支援 7,100千円
 県内小規模事業者のDX推進につなげるため、デジタル技術の導入により生産性向上を目指す先駆的な取組みに対し、必要な経費の一部を支援する。

(補助額) 1,000千円以内 (※共同実施の場合は2,000千円以内)
 (補助率) 1/2以内

担当：新未来産業課

新 建設分野DX実装事業



【令和3年度当初予算額 11,000千円】

1 目 的 新型コロナウイルス感染症対策として、非接触・リモート型への働き方の転換が求められる中、更なるデジタル化・スマート化など「DX」の実装により、建設分野における「生産性革命」や「WITHコロナ時代の新しい働き方」を推進するとともに、建設産業が将来にわたり持続的に発展できる取組みを進める。

2 事業内容 **(1) 新 DXの実装による生産性革命 3,560千円**

- ① i-Constructionの推進
 - ・ 「遠隔臨場」の活用による建設業の新たな働き方の推進
 - ・ i-Construction研修施設における最先端技術体験ツアーの実施
 - ・ 公共工事における3次元データ活用を推進
 - ・ DXの実装に向けた、人材育成のための各種講習会の開催
- ② 建築BIM活用の推進
 - ・ 県発注の建築設計業務における試行的なBIM活用を実施

(2) 新 建設産業の持続的な発展 7,440千円

- ① 多様な担い手の確保
 - ・ 若手技術者の育成を目的とした高校生を含む資格取得支援
 - ・ 外国人労働者を雇用する事業者向け講習会や、女子学生と女性技術者の交流会の開催
- ② 魅力・やりがいの発信
 - ・ 小中学生と保護者が一緒に建設産業の仕事にふれるインフラバスツアーの実施
 - ・ 建設フェア四国2021 in徳島の開催、防災フェスタへの出展
- ③ 安全・健康の確保と処遇の改善
 - ・ 建設工事従事者、自家警備従事者、一人親方等を対象とした各種講習会の開催

担当：建設管理課、住宅課、営繕課

実装加速！未来へ羽ばたくスマート農林水産業



【令和3年度当初予算額 56,726千円】

【令和2年度2月補正額 16,700千円】

1 目的 農林水産業における労働力不足の解消や生産性の向上など、直面する課題の解決に向け、5GやIoT・ビッグデータ・AI・ロボット等、Society5.0時代の未来技術を活用し、超省力化や高品質生産を実現するスマート農林水産業の実装を加速する。

2 事業内容 **(1) 未来技術を活用した技術開発の推進 28,000千円**

超省力化や高品質生産、熟練技術の継承などを実現するため、「AIの画像解析による果樹の栽培管理支援システム」や「ドローン空撮画像を活用した効率的な森林情報取得技術」、「AIを活用し、海水温や漁獲量等のビッグデータから漁海況を予測するシステム」など、未来技術を活用した技術開発を推進する。

また、都道府県の調査船で初となる「栄養塩の洋上連続分析」をはじめとするスマート漁業の実装を支える新たな機能を付加した、漁業調査船建造の設計を行う。

- ・ 生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業展開事業（15,000千円）
- ・ 漁海況予測システム構築事業（3,000千円）

⑧ 漁業調査船とくしま新船建造事業（10,000千円）

(2) 開発技術の速やかな現場実装 45,426千円

IoTを活用したニンジン栽培の温度管理システムやシンビジウムの生育予測システムなどの生産現場での実証や、ローカル5Gエリアにおけるリアルタイム高精細動画による遠隔栽培指導システムの実装に取り組む。

また、森林施業の効率化・省力化を図る先進的なICT技術の導入を支援する。

- ・ 勝ち抜く！園芸産地強靱化事業（13,000千円の内数）

⑧ 5G活用！スマートファーマー育成事業（10,000千円）

- ・ 5G活用スマート農業実証事業（11,352千円の内数）

- ・ スマート農業経営モデル確立事業（4,374千円）

⑧ 「スマート林業」導入支援事業（6,700千円）

担当：もうかるブランド推進課、スマート林業課、水産振興課、農林水産総合技術支援センター経営推進課

農林水産業未来創造基金活用事業



【令和3年度当初予算額 500,000千円】

- 1 目的 進展する経済グローバル化に対し、「守り」を固めて「攻め」に転じるための独自財源として、これまで総額25億円を積み立ててきた「農林水産業未来創造基金」を最大限活用するとともに、今後5年間、切れ目なく基金を積み増しすることにより、本県農林水産業のグローバル化対策をさらに充実・強化する。
- 2 事業内容 本県農林水産業の持続的な発展と、農山漁村の活力創出に向けて、地域が主体となって、未来の姿を具現化する「徳島ならではの」課題解決の取組みを後押しする。

農山漁村未来創造事業

【企画提案型】 地域の創意工夫に優れる取組みを最長3年、ハード・ソフトの両面で支援 (1/2以内等, 上限25,000千円等)

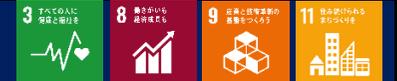
⑧ 特に、国際水準GAPを活用した輸出、スマート農林水産業の実装等の「攻め」の対策と、リタイアインフラ等を活用した「とくしま回帰」、気候変動適応策等の「守り」の対策を重点的に支援。

【政策推進型】 農林水産基本計画の推進を支援 (3/10以内, 上限10,000千円)

【農地集積型】 担い手への農地集積の促進を支援 (3/10以内等, 上限 2,000千円等)

【防疫対応型】 緊急の家畜伝染病対策を支援 (3/10以内, 上限10,000千円)

「県庁バックオフィス改革」による行政のデジタル化の加速



【令和3年度当初予算額 24,544千円】
 【令和2年度2月補正額 22,456千円】

1 目的 「ニューノーマル」に対応した誰一人取り残さない「真のデジタル社会」を実現するため、行政のデジタル化を加速し、事務の効率化や県民の方の利便性向上を図る。

2 事業内容 (1) **新** 電子入札全庁展開事業 9,500千円

行政手続のオンライン化による事業者の利便性向上を図るため、既に電子入札を実施している建設工事・工事関連委託業務に加え、物品の調達等に関する入札手続をオンライン上でも行うことができるよう、システムを構築する。

(2) **新** 県庁会議室DX化事業 27,500千円

DX時代の「新たな働き方のスタイル」を実装するため、万代庁舎の一部会議室におけるオンライン会議環境を整備し、円滑で安定したオンライン会議の実施を推進する。

(3) 目指せスマート県庁！「電子決裁100%化」実装事業 10,000千円

場所にとらわれない働き方を実現し、切れ目のない行政サービスの提供を行うため、システムのユーザーインターフェース向上やデータベースの強化により、電子決裁100%化を加速させ、更なるテレワークの推進を図る。

担当：スマート県庁推進課

最先端映像技術を活用したクリエイティブ産業の集積



【令和3年度当初予算額 68,180千円】

【令和2年度2月補正額 10,000千円】

1 目的 クリエイティブ産業の集積を推進するため、「3D・VR技術」を活用した「情報発信プラットフォーム」を構築し、「4K・VR徳島映画祭」をはじめ、「クリエイター育成講座」を通じ制作される本県独自の映像コンテンツや県内の優れた企業情報を一体的に発信する。

2 事業内容 (1) ① 「3D・VRショールーム」実装プロジェクト 10,000千円

今後、進化・普及が期待される「3D・VR技術」を活用し、インターネット上にバーチャルな展示・イベント会場となる「3D・VRショールーム」を構築し、「最先端映像技術を駆使した映像作品」や「県内企業の優れた製品等」を紹介する展示に加え、「4K・VR徳島映画祭」等のイベント利用により、付加価値の高い新たな情報発信を展開する。

○展示会場の活用例

- ・ 4K・VR映像、プロジェクトンマッピングなど映像コンテンツの上映
- ・ 「徳島県頑張る中小企業大賞」等を受賞した県内企業の製品等の紹介
- ・ お試し発注制度認定企業の商品・サービスの発信

(2) クリエイティブ産業育成事業 68,180千円

国内唯一の「4K・VR映画祭」の開催により、本県の先進性をPRするとともに、県内高等教育機関と連携し、次代を担うクリエイターを発掘・育成し、さらなるクリエイティブ産業の集積を推進する。

○「新たな日常」に対応した「4K・VR徳島映画祭」の開催

○高等教育機関や県内立地企業（サテライトなど）と連携したクリエイターの育成

担当：企業支援課

5Gスマートファクトリー推進事業



【令和3年度当初予算額 7,000千円】

1 目 的 県内ものづくり企業の生産性向上や作業効率化など生産現場の課題解決を図るとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進につなげていくため、工業技術センターの「ローカル5G」環境を活用し、デジタル技術の導入効果を飛躍的に高める「5G」の実装を促進する。

2 事業内容 **（1）「5Gオープンラボ」における研究開発と機運醸成 2,000千円**
 「5Gオープンラボ（工業技術センター）」を実証フィールドとして提供し、県内企業や高等教育機関による研究開発を促進する。

- ・ 5G通信機器の性能検証や、ロボット、IoTなどデジタル機器等の5G環境下における動作検証、5Gを活用した新技術・新製品の研究開発
- ・ 工業技術センターによる技術的支援（試作機の性能評価・機能改善等）
- ・ ラボの積極的活用と研究成果の発信による「5G」実装の機運醸成

（2）「5G」を活用した技術・製品開発の共同研究 5,000千円
 5Gを活用した新たな技術・製品の開発や、5G環境におけるデジタル技術の活用効果を一層高める技術の開発に向け、産学官連携による共同研究を推進し、県内企業への技術移転及び実用化を図る。

（共同研究テーマ案）

- ・ スマートグラス（AR（拡張現実））を活用した遠隔サポート技術
- ・ 4K／8K映像とAI解析を組み合わせたリモートヘルスケア支援技術 等

担当：新未来産業課、工業技術センター

新 企業局「スマート保安」推進事業



【令和3年度当初予算額 20,000千円】

- 1 目的 電気事業施設の保安業務を、Webカメラや水中ドローンを活用し、スマート化することにより、アフターコロナ時代のいかなる状況下においても、業務の継続を確実化するとともに、業務の効率化や災害時の対応力強化を図る。
- 2 事業内容
- (1) 企業局管理施設（日野谷発電所）にWiFi環境・固定Webカメラを設置
リアルタイムでモニタリングすることにより、常時の施設監視体制の強化は元より、災害・緊急事象発生時の対応を迅速化する。
 - (2) Webカメラ・マイク付きヘルメット（スマートフォン使用）を現場職員へ配備
オンラインで現場職員と管理事務所を接続し、臨場しなくても複数職員が現場の情報を共有可能となる。さらに、ベテラン職員のリモートによるトラブルシューティングを可能とする。
 - (3) 水中ドローンの導入
従来、潜水士により実施していたゲートなどの水中心検を、職員自らが水中ドローンで行うことで、日常の維持管理を強化する。

⑨ サテライトオフィスの誘致促進



【令和3年度当初予算額 12,000千円】
 【令和2年度2月補正額 56,000千円】

1 目的 コロナ禍を契機とした、テレワーク促進による地方創生の取組みを加速させるため、これまでの「サテライトオフィスコンシェルジュ」による寄り添い型支援に加えて、マッチングイベントの実施、PR活動の強化、定着のための支援を実施することで、地方分散型の活力ある地域社会の実現を図る。

2 事業内容 (1) サテライトオフィス誘致促進事業 12,000千円

徳島ならではの取組みである「サテライトオフィス・コンシェルジュ」を各圏域に配置し、希望企業からの様々な相談に対応し、きめ細やかな情報提供を行うことで、サテライトオフィス企業のさらなる誘致に繋げていく。



「サテライトオフィス&YOU」動画

(2) ⑨ 地域の担い手創出！サテライトオフィス誘致定着事業 56,000千円

進出希望企業に対するマッチングや、開設費用に対する支援を行うとともに、「地域」「新規進出企業」「先行進出企業」が一体となった連携・協働の場を設けることで、地域課題解決に資するための新たな取組みやビジネス創出を促す。

- ① 地域×サテライトオフィス企業 マッチングイベント
サテライトオフィスの開設を希望する企業との間でのマッチングイベント開催
- ② サテライトオフィスPR
リスティング広告やSNSの活用による誘致促進
- ③ 地域の担い手創出！サテライトオフィス誘致定着補助金
サテライトオフィス企業の誘致及び定着のための、ハード・ソフトの両面での支援

担当：Society5.0推進課

新「#徳島」 “アワー” ーケーション実践展開プロジェクト



【令和3年度当初予算額 9,500千円】

【令和2年度2月補正額 14,500千円】

1 目的 全国屈指の光ブロードバンド環境を活かし、大自然の中で“キッチリ働ける”徳島ならではのワーケーションの実装・実践へ！観光・宿泊業における新たなビジネスプランの提案や関係人口創出による地域活性化を図る。

2 事業内容 (1) 新可能性の宝庫・徳島！アワーケーション実装事業 16,000千円

①アワーケーションを戦略的に情報発信

- ・徳島のワーケーションを網羅した「戦略マップ」に基づき、日本全国のワーケーション希望者をターゲットに、ビジネス・レジャーで幅広く活用される媒体で有効なアワーケーションの魅力を発信。

②“オーダーメイド型”アワーケーションプランのコーディネート

- ・徳島を応援する県外事業者等を募集し、福利厚生プラン、ハッカソン等個々のニーズにあわせたワーケーションをコーディネート。
- ・「事例紹介セミナー」や「オンライン座談会」で体験・宿泊プラン等を提案しニーズを掘り起こし。

③地域と繋がり社会貢献！「アワー（Our）ケーション」へ

- ・コーディネーターにより、企業×地域団体（NPO等）のマッチングを行い、森づくり、食育、地域づくり団体とのコラボレーションなど、地域の課題解決に貢献するとともに、企業理念を体現するSDGs活動を行う際の支援を実施。

(2) 新エリア特性発揮・徳島！アワーケーション実装の全県展開 8,000千円

各地域の持ち味を発揮したワーケーション体験による受入体制のブラッシュアップ。

①遊びの中からビジネス創出！四国の右下・徳島アワーケーション事業【南部】

- ・県南部のサテライトオフィス企業と連携し、「遊び場」と「仕事環境」が充実した県南の特徴を活かした実践型ツアーを実施。

②徳島・にしアワーケーション・フィールド推進事業【西部】

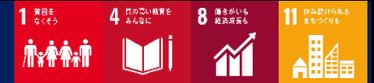
- ・魅力的な「地域資源」と宿泊、交通等を組み合わせた「にし阿波」ならではの「ワーケーションプラン」を提供する体験会を実施。



【体験イメージ】

担当：とくしま回帰推進課、南部総合県民局地域創生防災部、西部総合県民局地域創生観光部

新 徳島でリスタート！移住交流のさらなる加速



【令和3年度当初予算額 5,000千円】

【令和2年度2月補正額 30,000千円】

【令和2～5年度債務負担行為設定額 13,000千円】

1 目的 東京一極集中の是正、地方分散型の活力ある地域社会の実現のため、「リスタート」を合い言葉に、地方への新たな人の流れを創出する「徳島ならではの」移住支援策を強力に展開する。

2 事業内容 (1) 若者・子育て世帯の「リスタート」を支援！ 20,000千円

新 みんなでリスタート！#徳島移住促進事業

若者や子育て世帯の「リスタート」を集中的に支援するため、今年度創設した「学生向け支援金」に加え、**未就学児のいる子育て世帯**に向けた**移住支援金**を新設する。

⇒ 移住当初 1世帯あたり10万円支給
2年経過後 さらに 10万円支給



徳島県移住交流ウェブサイト

「住んでみんで徳島で！」

(2) 「リスタート」をサブスクでサポート！ 10,000千円

新 サブスクで移住者の「住まい」と「移動」まるごとサポート事業

移住者の「リスタート」において、ハードルとなる「住まい」と「移動」について、「サブスクリプション方式」によりサービスを提供する事業者に対して支援を行う。



とくしま若者応援サイト

「AWAIRO」

(3) リタイアインフラの「リスタート」を体感！ 5,000千円

新 きっと見つかる！リタイアインフラで理想の徳島暮らし体感事業

空き家をはじめとする「リタイアインフラ」を「リスタート」させ、魅力ある徳島暮らしを実践している「先輩移住者」を訪問するツアーを「実訪問」と「オンライン」でブレンディッド開催し、地方移住の裾野拡大を図る。

担当：とくしま回帰推進課

農林水産業「次世代人材」育成・確保事業



【令和3年度当初予算額 162,000千円】

1 目的

担い手確保による持続可能な農林水産業を実現するため、農・林・水の各アカデミーが連携し、スマート農林水産業に対応した次世代を担う人材の育成に取り組むとともに、就業定着のための支援制度の充実を図る。

2 事業内容

(1) 農・林・水が一体となった人材の確保 1,500千円

コロナ禍において高まる地方回帰の機運を活かし、U・Iターン希望者等に向け、先輩就業者が活躍する姿や充実した就業サポート体制を発信するとともに、農・林・水合同でのリモート相談会・座談会の開催により、人材の確保を図る。

- ・とくしま農林水産未来人材スクール魅力発信事業

(2) 次世代を担う人材の育成 128,000千円

農・林・水の各アカデミーを核とした人材育成や就業定着までの支援に取り組むとともに、SNSを活用した広報や、ニューノーマルに対応したオンライン授業を新たに開始する。また、漁家子弟である研修生に対し、給付金を交付する制度を創設するなど、支援の充実を図る。

- ・アグリビジネスアカデミー運営費
- ・とくしま林業アカデミー事業
- ◎とくしま漁業アカデミー活性化支援事業
- ・とくしま漁業アカデミー運営事業

(3) スマート人材・エキスパート人材の育成 32,500千円

先端技術を駆使できる人材や現場の即戦力となる人材の育成のため、5Gエリアにおける遠隔指導体制や、ITセンサーを活用したスマート農業モデル園地の整備を行う。

また、林業での主伐に対応した技術者のスキルアップや、漁業での就業段階に応じた学びの場の創出など、リカレント教育の充実を図る。

- ◎5G活用！スマートファーマー育成事業（再掲）
- ◎かんきつテラススマート農業交流事業
- ・とくしま林業リカレント支援事業
- ・人づくり革命・漁業リカレント事業

担当：スマート林業課、水産振興課、農林水産総合技術支援センター経営推進課

新 「#徳島」実践！とくしま魅力発信プロジェクト



【令和3年度当初予算額 34,000千円】
 【令和2年度2月補正額 8,000千円】

1 目的 徳島の文化や景観、食や体験など、徳島の魅力発信にクリエイティブをフル活用！
 訴求力の高い映像やWEBにより、徳島由来の魅力を「#徳島」として全力発信することで、
 徳島県の知名度向上、ブランドイメージ確立を加速化し、交流促進やとくしま回帰へ繋げる。

2 事業内容 (1) “創造” 全県一丸で魅力創造！ **新**「#徳島」クリエイティブ発信強化 **8,000千円**

【タスクフォース×県内クリエイター】

「徳島」が有する様々なコンテンツについて、プロフェッショナル人材が参画する
 県タスクフォースを活用し、県内クリエイターに「気づき」を与え、創造性を
 喚起するとともに、新たな魅力を発見・洗練・付与し、「#徳島」としての
 訴求力・拡散力のある「情報発信コンテンツ」を創造する。



【 県内クリエイター
 作成コンテンツ 】

(2) “発信” 全国へ全集中！！ 「#徳島」戦略的情報発信 **12,000千円**

【ターゲット×コンテンツ】

徳島が、いつも検索上位に！年代・性別・地域性などを踏まえ、「#徳島」の
 発信について、全国展開を可能とするプロモーション手法を分析・研究し、
 訴求する「ヒト・モノ・コト」の映像コンテンツを、ターゲットに相応しい形で
 発信することで、全国に向けた“全集中”プロモーションを展開する。

(3) “集結” 全クリエイティブの集大成 **新**#徳島ニューノーマル映画祭second **22,000千円**

【クリエイティブ×地域】

令和3年3月開催予定の映画祭を発展！「映像・アート・デジタル」等の
 あらゆる技術を組み合わせた参加型・屋外開放型映画祭の実施により、
 特に感度の高い若者を中心として、新しい刺激を提供！

「ニューノーマル型の映画制作を支援」することで、徳島を全国のクリエイターを
 惹きつける「クリエイティブの聖地・徳島」として確立する。

担当：とくしま回帰推進課

みなみで総活躍！まち・ひと・しごと次代承継事業



【令和3年度当初予算額 12,200千円】

1 目的 「ひと」と「しごと」の好循環による持続可能な「まち」づくりを推進するため、南部圏域5市町と連携し、四国の右下ファンの拡大、移住・定住の促進、サテライトオフィスの誘致・定着支援等、県南ならではの施策を展開する。

2 事業内容 **(1) 大学生×地域社会による「四国の右下ファン」の拡大 2,100千円**

- ・大学生が“地域社会の一員”としてフィールドワークを実施し、地域と密に関わることで、地域の課題解決を図る。
- ⑨※新たに公募枠を設定（専門知識の活用、新たな大学との交流など）

(2) 地域ニーズに基づく人材誘致・育成による移住・定住の促進 5,250千円

- ⑨・先輩移住者等のリアルな声を伝える「オンラインサロン」を配信するほか、南部圏域の暮らしに密着した情報発信を行い、移住・定住等を促進する。
- ・南部圏域にゆかりのある若者が県南部で活躍する方々へのインタビューを通して、地域での暮らしや仕事を実感し、その内容を全国に発信することで、多くの若者に将来的に県南で暮らしたいと思えるよう、意識醸成を図る。

(3) 地域連携によるサテライトオフィス（SO）の誘致・深化 4,850千円

- ・SO企業や地元企業等が参加する研究会を通して、SO企業のノウハウと地元企業の強みを活かした新たなビジネスモデルを創出することで、SO企業の定着や地元企業の課題解決を図る。
- ・徳島の新たなビジネスモデルを全国に発信し、更なるビジネスチャンスの拡大とSO企業の誘致を推進する。
- ・豊かな魅力ある自然環境を体感しながら、仕事と遊びを両立できる南部圏域ならではの働き方を提案し、ワーケーションを推進する。



「四国の右下」暮らし

新「徳島・にし阿波」でリスタート！人材育成・定着支援事業



【令和2年度2月補正額 7,000千円】

1 目的 徳島・にし阿波地域の関係人口や移住者の増加・定住化、地元産業の承継者育成・継続による地域経済の回復・飛躍を図るため、にし阿波の特色と魅力を最大限に活かした次世代人材の「育成・自立型支援」を強力に推進する。

2 事業内容

(1) 「にし阿波」の魅力を強力に発信 2,210千円
「にし阿波」の持つ、「観光圏」、「世界農業遺産」、「食と農の景勝地」のトリプル認定を受けた日本唯一の圏域における暮らしや産業をオンラインで体験できるツアーの開催や農業者目線によるSNS動画等の情報発信により、にし阿波の魅力を全国の移住希望者に強力にアピールする。

(2) 「にし阿波」地域産業の多様な担い手育成 2,660千円
先輩移住者等の成功事例を検証の上、移住希望者について、オーダーメイドの「綿密な移住計画」を策定し、地元企業への就職や起業に繋がる研修を実施する。
また、令和2年11月に発足した「にし阿波就農・移住応援隊」を核とした雇用型農業研修に加え、副業型農業研修を行う。

(3) 「にし阿波」移住者の定住化支援 2,130千円
移住者と地元企業との「異業種交流」の機会を創出し、双方の事業取引の拡大や新たな事業連携をサポートする。特に、農業分野では、新規就農者や青年農業者が生産した農産物を販売する「オンライン商談会」や「飲食事業者等とのマッチング交流」による販路開拓の支援により、新規就農者等の定着化を図る。



「☆徳島・にし阿波へカモ〜ン！」動画

担当：地域創生観光部、農林水産部

このとり応援事業<不妊治療・不育症検査費用助成事業>



【令和3年度当初予算額 552,296千円】

【令和2年度2月補正額 54,000千円】

- 1 目的 出産を希望する世帯を広く支援し、少子化対策の推進を図るため、特に高額な医療費のかかる特定不妊治療（体外受精・顕微授精）について、助成額の増額をはじめとする大幅な支援拡充を行う。
また、新たに令和3年度から不育症検査費用の助成を開始する。
- 2 事業内容
- (1) 特定不妊治療費用助成事業 R3当初：541,296千円、R2補正：54,000千円**
- 特定不妊治療を受けた方の申請に基づき県が助成を行う。
 - 対象者：特定不妊治療以外の治療で妊娠の見込みがない又は極めて少ないと医師に診断された夫婦(事実婚も対象)
 - 対象年齢：43歳未満(妻の年齢)
 - 助成回数：1子ごと 6回まで（40歳以上43歳未満は3回）
 - 助成額：1回の治療につき「30万円」まで（男性不妊の「手術療法」も対象）
※ただし、「以前に凍結した胚を解凍して胚移植」、「採卵したが卵が得られない」等の理由により中止したものについては、1回の治療につき「10万円」まで
 - 県単独助成：本県独自の制度として「凍結保存料」に対する上乗せ助成の継続
※「胚3万円」まで・「精子等3万円」まで／1年度当たり1回限り
- (2) ⑧ 不育症検査費用助成事業 R3当初：11,000千円**
- 不育症の検査における経済的負担を軽減するため、不育症検査費用の一部を助成する。
 - 対象者：不育症のリスク因子を特定するために、血液検査や超音波検査等の「保険適用の検査」に加えて、「保険適用外の検査」を受けた方
 - 助成額：保険適用外の検査費用 1回「5万円」まで

新たな婚活スタイルへの対応



【令和3年度当初予算額 38,000千円】

1 目的 「希望出生率1.8」を実現するため、「とくしまマリッジサポートセンター」を拠点とし、結婚を希望する一人ひとりのライフプランに応じた結婚支援の拡充を図る。

2 事業内容 **(1) ① オンライン婚活基盤整備事業 7,500千円**

「アフターコロナ時代」の新たな日常に対応し、婚活が手軽にできる環境を整備するため、登録者情報の自宅閲覧やオンラインお見合い機能の導入など、マッチングシステムを拡充する。

(2) とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業 30,500千円

結婚を希望する人に出逢いの機会を提供するため、若い世代を対象としたライフデザインセミナーやイベントの開催、「阿波の縁むすびサポーター」のスキルアップ研修会の開催など、総合的な結婚支援を実施する。

⑨ チーム育児推進！事業



【令和3年度当初予算額 7,100千円】

1 目的 子育ての孤立化を防ぎ、子育て家庭の負担感を軽減するため、夫婦の協働を中心に、周囲に頼りながら楽しく育児を行う「チーム育児」を推進する。

2 事業内容 (1) 「家庭」でチーム育児！ 2,620千円
 家庭でチーム育児を推進するため、男性の子育て参画セミナーの開催や産前（プレママ・プレパパ）から地域子育て支援拠点と連携する取組みを推進し、企業や社員を対象とした研修を実施する。

(2) 「地域」でチーム育児！ 2,895千円
 地域で子育てしやすい環境づくりを推進し、育児負担の軽減を図るため、地域子育て支援拠点への専門的な研修を実施するとともに、助産師会やファミリー・サポート・センターとの連携を推進する。

(3) 「みんな」でチーム育児！ 1,585千円
 県全体でチーム育児を推進する機運の醸成を図るため、チーム育児応援企業の優れた取組みを広報啓発するとともに、「子育て大賞」により顕彰する。

担当：次世代育成・青少年課

⑨ 未来へ繋ぐ！保育現場サポートプロジェクト



【令和3年度当初予算額 35,000千円】
 【令和2年度2月補正額 8,700千円】

1 目的 保育士の確保及び資質向上を図るため、指定保育士養成施設や民間事業者と連携し、就職支援や研修機会の確保のための環境づくりを行う。

2 事業内容 (1) ⑨ 未来の保育士定着促進事業 8,700千円 (2月補正)

指定保育士養成施設の学生に、「保育現場での経験」を積んでいただき、「保育施設への就職」を促すとともに、「保育士の負担軽減」を図る。

(2) ⑨ 保育士試験対策講座実施事業 3,000千円

保育士試験対策講座を実施し、合格率の向上を図り、県内保育所等への就職を促進する。

(3) とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業 32,000千円

子育て支援ニーズや地域の実情に応じた県独自の交付金で、市町村における機動的かつ戦略的な子育て施策に対し支援を行う。

うち ⑨ 保育士研修受講サポート事業

民間保育所等の保育士が研修を受講する際、代替職員を雇用する経費に対し補助を行い、保育士の研修機会の確保及びスキルアップを図る。

①「新ホール」及び「新たな青少年センター」の整備



【令和3年度当初予算額 1,382,000千円】

【令和4年度債務負担行為設定額 1,080,000千円】

- 1 目 的
- 県都のランドマークとなる「新ホール」を県市協調により整備し、県民の文化活動の更なる促進や優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、県都・中心市街地のにぎわいの創出を図る。
また、「新たな青少年センター」を整備することにより、青少年の健全育成や県民の福祉の向上を図る。

- 2 事業内容
- (1) ①新ホール整備事業 167,000千円

新ホールの整備に向けて、旧文化センター跡地における埋蔵文化財調査を実施する。

- (2) ①青少年センター機能移転事業 1,215,000千円

(令和4年度債務負担行為設定額 1,080,000千円)

現青少年センターを解体するとともに、アミコビルの8階、9階及び屋上を活用し、青少年をはじめ県民の主体的活動と未来を切り拓く交流拠点となる新たな青少年センターを整備する。

担当: 県民文化課、次世代育成・青少年課

⑨ 新駅設置検討事業



【令和3年度当初予算額 45,000千円】

1 目的 県内外から新ホールを利用しやすい環境を創出するとともに、周辺施設への「利便性向上」を図ることにより、新ホールを核とした「魅力あるまちづくり」へ繋げるため、JR牟岐線への「新駅設置」の検討に着手する。

2 事業内容 **⑨ 新駅設置検討事業 45,000千円**

○ JR四国や徳島市と連携し、鉄道高架事業を見据え、新駅設置に向け検討を行う。

主な検討項目

- ・新駅の「位置や構造」
- ・新駅の利用者予測による「採算性」
- ・「パターンダイヤ」への影響

⑨ 未来へ継承！新たな時代の「国際スポーツ大会レガシー」の創出



【令和3年度当初予算額 531,000千円】

【令和2年度2月補正額 101,000千円】

【令和4年度債務負担行為設定額 7,000千円】

1 目的 国際スポーツ大会を通じ、
 県内競技者の競技力向上、県民の夢や希望、感動の創出、国際交流の促進などの
 「スポーツレガシー」の創出を図るため、
 万全の態勢で東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを受け入れる。
 また、スポーツツーリズムによる地域活性化を図るため、
 スポーツ大会・合宿誘致やワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備を行う。

2 事業内容 (1) ⑨ 新たな時代の東京2020大会事前キャンプ受入事業 480,000千円
 (一部2月補正 75,000千円)

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した万全の態勢で
 海外代表チームを受け入れるとともに、
 「新しい生活様式」を踏まえた県民と選手との交流を行う。

(2) ⑨ 新たなスポーツ大会・合宿スタイル実践事業 31,000千円

「徳島県スポーツコミッション」を核として、
 スポーツ合宿の「ワンストップ窓口」設置や
 「WITHコロナ時代」の大会・合宿スタイルの情報発信を行い、
 スポーツ大会・合宿誘致を推進する。

(3) ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備加速化事業 121,000千円
 (一部2月補正 26,000千円)

(令和4年度債務負担行為設定額 7,000千円)
 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した大会運営準備や
 「新たな日常」における来県者のおもてなしの充実を図るとともに、
 積極的な大会広報と徳島の魅力発信を行う。

担当：国際スポーツ大会課

⑨ 徳島ならではの「あわ文化」の力の結集による未来の創造



【令和3年度当初予算額 185,200千円】
 【令和2年度2月補正額 10,000千円】

1 目的

「国際スポーツ大会」や「2025年大阪・関西万博」を絶好の機会と捉え、徳島ならではの「あわ文化」の魅力を国内外へ強力に発信する。

2 事業内容

(1) ⑨ 「あわ三大音楽」とくしま魅力創出發信事業 26,000千円
 新たな生活様式を実装し、県民主役の「とくしま音楽祭」をリスタート

(2) ⑨ 地域連携音楽コーディネート事業 17,000千円
 音楽キャラバンにより、ニューノーマル型の「ライブ」を県内各地で展開

(3) ⑨ 文化資源をつなぐ「あわ文化」とくしま魅力発見事業 9,500千円
 「阿波藍アート展」を契機としたPR、魅力発見ツアー等の実施

(4) ⑨ 徳島の「阿波人形浄瑠璃」国内外派遣事業 14,000千円
 「人形座」の国内外派遣、「デジタル襖からくり」を活用した舞台演出

(5) ⑨ 「あわ文化」とくしま未来創造事業 31,200千円
 県民主体の文化活動への助成、組立て式移動ギャラリーによる県内巡回展示

(6) ⑨ 「吉野川・あわ文化」を巡るとくしま文化観光推進事業 69,000千円
 デジタル技術を活用した文化資源の魅力発信、「文化観光拠点施設」の磨き上げ

(7) 徳島県民文化祭開催事業 18,500千円
 分野別文化団体と連携し、様々な文化を満喫できる総合舞台を制作

(8) ⑨ とくしま「eスポーツ」推進加速化事業 10,000千円 (2月補正)
 オンラインによる「国際交流」、県主催の「全国規模の大会」等を開催

担当：県民文化課



ニューノーマルに対応した新たな観光誘客の推進



【令和2年度2月補正額 12,000千円】

- 1 目的 WITHコロナの中、デジタル技術やオンラインを活用し、ニューノーマルに対応したプロモーションの展開や「旅マエ」の来訪意欲の増進を図ることで、広域観光における誘客促進、県内観光産業の着実な回復に繋げていく。
- 2 事業内容
- (1) デジタル技術を活用した体験ブース設置事業 5,000千円**
首都圏等の旅行会社を対象とした観光商談会・セミナー会場において、VR技術等を活用した「徳島体感ブース」を設置し、会場にしながら徳島県の魅力をリアルに体験していただくことで、徳島をより深く知っていただき、アフターコロナに向けた旅行商品の造成を促進する。
- (2) オンラインツアーを活用した旅行商品造成促進事業 2,000千円**
全国の旅行会社を対象として「観光VR動画」や「ライブ配信」を組み合わせ、その場にながら徳島県の観光を体感できるオンラインファミツアーを実施し、全国各地から多数の方に参加していただくことにより、効果的なプロモーションを行う。
- (3) 「旅マエ」のとくしま魅力発信強化事業 5,000千円**
徳島県の観光を旅行者目線で疑似体験できる動画コンテンツを制作し、旅行会社と連携を図り、旅行希望者を対象にオンラインセミナーを実施することにより、徳島に「行きたい」「体験したい」意欲の増進に繋げる。

担当：観光政策課

⑧ 四国DC周遊観光キャンペーン事業



【令和3年度当初予算額 21,500千円】

1 目的 2021年10月～12月に開催される「四国DC」の「事前・本番」から「事後」へと繋がる旅行商品造成支援や、「四国DC」とのタイアップキャンペーンを通年で開催することにより、本県への集客と観光消費額の拡大を図る。

2 事業内容 (1) 四国DC旅行商品造成支援 10,000千円

四国DCの開催期間中、観光客にスムーズな県内観光を楽しんでいただくため、県内バスを利用した宿泊旅行商品の造成支援を強化する。

- DC向け旅行商品枠の新設
- バス助成加算の新設
 - ・「藍よしのがわトロッコ・DMV」を商品に組み込んだ場合の加算

(2) 四国DC周遊観光キャンペーン 8,000千円

来県した観光客の円滑な県内周遊を促進し、観光需要を喚起するため、今春から、周遊観光促進キャンペーンを実施する。

- 四国DC用に県内各地で開発された観光素材と公共交通機関等を組み合わせた魅力的な周遊プランを造成し、DC開催前から、本番、アフターDCにおける県内周遊を促進
- その地域ならではの体験プログラムや「食」などの魅力を「徳島」のハッシュタグを付け、SNSで発信
- 県内JR各沿線付近の施設における特典の造成支援

(3) 「藍よしのがわトロッコ」の地元おもてなし体制の整備 3,500千円

DMOや沿線市町と連携し「藍よしのがわトロッコ」の観光ガイドや車内販売を充実させることにより、トロッコ列車の魅力アップを通じた観光誘客につなげる。

担当：観光政策課

⑧ アフターコロナ航空戦略事業



【令和3年度当初予算額 85,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響により低下した航空需要を回復させ、航空路線の維持を図るとともに、アフターコロナ時代の航空ネットワークの構築を目指すため、新たな航空需要の創出につながる取組みを実施する。

2 事業内容 **航空会社等と連携した航空需要の創出 85,000千円**
 アフターコロナ時代の新たな運航スタイルのモデルとして、地方都市を結ぶチャーター便などにより、新規路線への戦略的なステップアップを図るとともに、既存路線を活用し、交流人口拡大に向けた航空需要創出に取り組む。

- ① とくしまチャレンジフライト（仮称）
 チャーター便を活用し、大都市部をパスする地方都市連携やお試し就航等の新たな運航スタイルの実施に必要な経費を支援
- ② とくしまタイアップフライト（仮称）
 既存路線の座席を活用した交流人口拡大につながるモデルツアーの実施、情報発信に必要な経費を支援

実施メニュー

- ・ワーケーション、サテライトオフィス等働き方改革体験ツアー
- ・多拠点生活体験ツアー
- ・若年層を対象とした体験型教育旅行
- ・徳島ファン・リピーター創出ツアー など

担当：次世代交通課

① 進化する！「新たな海上交通」実証運航（第二幕）事業



【令和3年度当初予算額 20,000千円】

1 目的 アフターコロナ時代を見据え、国内外から本県への誘客を促進し、「新次元の分散型国土」創出に向けた「交流人口拡大」を図るため、本県と関西を結ぶ「新たな交通ネットワーク」の構築を目指し、単なる交通手段でなく、「付加価値をつけた海上交通」の導入に向けた取り組みを行う。

2 事業内容 **①「新たな海上交通」実証運航（第二幕）事業 20,000千円**
 R2実証運航で頂いた意見を踏まえ、「運航ルート」、「使用船舶」、「実施時期」、「Wi-Fi整備等による船内時間の充実」等について、さらなる検討を進め、より「魅力的な運航計画」にブラッシュアップし、実証運航を行う。

※R2実証運航状況

- 実施日：R2.10.19(月)
- 参加者：旅行・行政関係者等117名
- 乗船者の主な意見
 - ・クルーズ的要素の充実
 - ・船ならではの強みを発揮できるエリアへの寄港
 - ・船内時間の充実

新 大阪・関西万博に向けた魅力発信加速化事業



【令和3年度当初予算額 4,500千円】

1 目的 「2025年大阪・関西万博」開催の好機を捉え、「徳島ならではの」の「未来技術、自然、歴史・文化、観光」等、「魅力的なコンテンツ」を効果的かつ強力に発信し、本県の「魅力度アップ」をはじめ、「経済波及効果」や「にぎわい創出」を図る。

2 事業内容

(1) 「#とくしまバーチャルパビリオン（仮称）」の構築

大阪・関西万博に先駆けて、国内外に向け「徳島ならではの」の「魅力」浸透を図るため、インターネット上に県版の「バーチャルパビリオン」を構築し、徳島の魅力を盛り込んだAR・VR動画等の「デジタルコンテンツ」を一元的かつ効果的に発信する。

(2) 「徳島ならではの」の出展方法等の調査・研究

万博会場における「出展方法」をはじめ、万博開催前の「イベント開催」等、「徳島ならではの」の事業展開に向けた調査・研究を行う。

(3) 「2025年大阪・関西万博フォーラム」の開催

万博の機運醸成や経済効果を本県に波及させるため、「日本国際博覧会協会」と連携し、リアルとWEBによる「2025年大阪・関西万博フォーラム」を開催する。



2025年大阪・関西万博HP
(日本国際博覧会協会)

新 東京・関西発！徳島「魅力発信」×「ファン創出・拡大」事業



【令和3年度当初予算額 23,000千円】

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスタースゲームズ2021関西、2025年大阪・関西万博と世界が注目する首都圏・関西圏において、本県の「さらなる認知度向上」を図るため、「徳島が誇る魅力」を効果的に発信し、アフターコロナに向けた観光誘客の促進及び交流人口や「徳島ファン」の拡大へと繋げる。

2 事業内容

(1) 新 歴史の絆を新たなミライへ！首都圏で「阿波とくしま」魅力発信事業 10,000千円

東京2020大会開催に合わせ、首都圏に新たな情報発信拠点を創出するため、文化や歴史的に絆のある地域において、本県の様々な魅力を重点的に発信する。

- 歴史的な絆を持つ地域と一体となった「徳島ならではの」プロモーションの展開
 - ・学校や商店街と連携し、阿波おどりなどの「観光・文化」体感の場を創出
 - ・飲食店へ農林水産物等の県産品を提供し、「食」体感の場を創出
- 協賛イベント実績や県出身者との絆を活かしたPR活動の展開
 - ・東京メトロ等、駅や車両内での広告やメディアプロモートを実施



「まるごと徳島体感事業」実施状況
(令和元年度当初事業)

(2) 新 関西発！「徳島ファン」が広げる「徳島ファン」創出事業 13,000千円

○KANSAI「デジタル交流空間」創出プロジェクト

- ・関西本部をリアルとデジタルが融合した「ハイブリッド交流空間」として整備し、より多くの人に徳島を知ってもらうため「徳島ならではの講座」を実施

○既存ファンと連携！「徳島ファン」拡大プロジェクト

- ・徳島ファンとの連携を強化し、「新たな徳島ファン」獲得のため、リアルとSNS等の両面から、特に「若い世代や女性」に向け「徳島の魅力」を発信

○関西発！ハイブリッド型で新たな徳島ファン創出プロジェクト

- ・関西のお笑い文化とコラボした徳島再発見イベントや、オリパラ、WMG、万博にフォーカスした「徳島へ人呼び込む」観光プロモーションを実施



TOKUSHIMA_FUN
徳島ファンづくり@関西PT
公式Instagramアカウント

担当：東京本部、関西本部

未来につなげる広報広聴事業



【令和3年度当初予算額 159,066千円】
 【令和2年度2月補正額 6,000千円】

1 目的 県内外はもとより海外からも、より多くの「徳島ファン」を獲得するため、SNSなど多様な媒体を活用し、時代に即した戦略的な広報広聴事業を展開する。

2 事業内容 (1) **新** とくしまPR広告創出事業 6,000千円

「ワールドマスタースゲームズ2021関西」や「大阪・関西万博」など、アフターコロナ時代に訪れる国内外からの来県者へ徳島県をPRするため、徳島阿波おどり空港に隣接する「臨空本部・臨空配送センター」倉庫壁面に、徳島県を強く印象づける広告を掲出する。

- ・ 広告デザインコンペを実施し、コロナ禍の制作業者を支援するとともに、自由な発想の下でのデザインを募る。
- ・ 選定委員会において選定したデザインを採用し、他に応募のあったデザインはウェブ媒体への掲示などにより活用する。

(2) **新** ダイバーシティ対応型広報推進事業 6,400千円

県政情報を必要とする方へ適切に発信するため、動画への日本語字幕整備や記者会見への手話通訳導入など、ダイバーシティの視点に立った情報発信を行う。

(3) **新** 県HPユーザビリティ向上事業 2,350千円

県ホームページを、県民の方にとってより使いやすいものとするため、サイト内検索機能や操作性の向上などを行うことにより、県民の利便性向上を図る。

(4) その他

SNSでのハッシュタグの活用や、ターゲティング広告の掲出により、若者をはじめとした、ターゲットを絞った戦略的情報発信を展開する。

担当：秘書課

新生・博物館“驀進（バクシン）”事業



【令和3年度当初予算額 648,000千円】

1 目的 本県の文化観光拠点として、これからの時代にふさわしい施設となるため、I・O・T技術や高精細映像等を駆使し、ユニバーサルデザインに配慮した「新未来型展示」として、常設展を一新し、誰もが親しみやすく楽しく学べる博物館を目指す。

2 事業内容 **(1) 県立博物館新常設展構築事業 596,000千円**

「徳島まるづかみ」をコンセプトとし、実物資料をはじめ、AR、VR等を活用し、郷土徳島の自然、歴史、文化を余すことなく「見て、触れて、感じる」ことができる「新未来型の博物館」として、令和3年8月のグランドオープンを目指す。

(2) ① グランドオープン!!博物館“驀進（バクシン）”事業 18,000千円

ホームページの多言語化をはじめ、デジタルアーカイブやエンターテイメントコンテンツを充実し、SNS等を活用した情報発信によりWEB上での露出度を強化するとともに、メディアミックス戦略を展開し、新たなターゲット層の獲得につなげる。

(3) 日本最古級恐竜化石含有層調査・発信プロジェクト 34,000千円

平成30年勝浦町で発見された国内最古級恐竜化石含有層（ボーン・ベッド）の発掘調査を進めるとともに、その最新情報をいち早く展示し、「恐竜王国トクシマ」の魅力を全国へ発信していく。

世界最高の情熱！阿波おどり体感事業



【令和3年度当初予算額 35,000千円】

1 目的 「“ニューノーマル”阿波おどりの祭典」での感染予防対策の検証を踏まえ、関係自治体、踊り団体等と連携し、感染ステージに対応した安全安心の阿波おどりを開催・支援することにより、本県の誇る伝統芸能・阿波おどりのリスタートにチャレンジするとともに、阿波おどりを活用した観光誘客の促進を図る。

2 事業内容 **(1) ニューノーマル・阿波おどりの展開 31,000千円**

○阿波おどりの祭典 (20,000千円)

時期：令和3年11月上旬（予定）

場所：アスティとくしま（予定）

内容（予定）：

- ・有名連による迫力ある演舞「阿波おどり大絵巻」（リアル）
- ・県外連が本場・徳島に集う「阿波おどりコンテスト」及び「阿波おどり伝承塾」（リアル）
- ・海外連による躍動感ある演舞「世界へ広がる阿波おどり」（リモート） など

○ニューノーマル・阿波おどりPLUS（プラス） (11,000千円)

県内自治体が参画して開催する、ニューノーマルに対応した阿波おどりイベントを支援する。

(2) 「阿波おどり」による誘客促進 4,000千円

「阿波おどり」を組み込んだ冬期の企画旅行商品を造成した旅行会社への助成を行うとともに、阿波おどりの次世代への継承として、親子を対象とした、阿波おどり教室など「あわ文化」を体感できるイベントを開催する。

夢と感動を！徳島ヴォルティスJ1事業



【令和3年度当初予算額 45,525千円】

【令和2年度2月補正額 74,475千円】

1 目 的 徳島ヴォルティスの「J1定着」に向け、県民一丸となった応援機運をより一層醸成するとともに、プロスポーツの持つ集客力・情報発信力を活用し、徳島の魅力を全国に発信し、県内のにぎわい創出・交流人口の拡大、宿泊者数の増加を図る。

2 事業内容 **(1) 応援機運の醸成・交流人口の拡大 19,150千円**

- スタジアム等におけるにぎわい創出
 - ・オンラインによる応援企画の実施
 - ・ヴォルティスロード等でのニューノーマルイベントの実施
- 広報・情報発信
 - ・ヴォルティスと連携したPR

(2) ホーム戦における渋滞対策 62,850千円

- シャトルバスの運行及び公共交通機関の利用促進
 - ・臨時駐車場からのシャトルバスを運行するとともに、公共交通機関の拠点とスタジアムを結ぶニューノーマルに対応した輸送手段の導入を促進する。

(3) 観光客・宿泊者数の増加対策 38,000千円

- 県内で宿泊をするサポーターを対象とした宿泊割引
- 徳島ヴォルティス観戦ツアー造成支援（旅行商品助成）
- スタジアム内や観光施設等で利用可能な「ヴォルティスJ1復帰記念クーポン(仮称)」の発行
- おもてなしタクシー周遊キャンペーン（「初乗りクーポン」の発行、「観光周遊タクシーの運行」）

担当：観光政策課、にぎわいづくり課

新 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」 推進事業



【令和3年度当初予算額 150,640千円】

1 目的

順調に拡大している農林水産物等の輸出分野において、現状の約2倍となる「令和10年度 輸出金額30億円」という本県の「戦略目標」を達成するため、「デジタル技術の徹底活用」や「販売のマルチチャネル化」等、次のフェーズを見据えて、「5本の柱」の取り組みを推進する。

2 事業内容

（1）販売ルートを「より太い幹」へ！ 35,190千円

新型コロナウイルスの影響により毀損した東・東南アジア等への販売ルートについて、「現地特派員」の確保による県産品売り込みのサポートや、「巣ごもり需要」の拡大に伴い、伸張する小売り、中食、デリバリー市場へのアプローチ等、刻一刻と変化する消費動向に合わせたビジネス展開を図る。

（2）「新たな市場」にチャレンジ！ 29,000千円

EUにおける「とくしま三大香酸かんきつ」のブランディングの深化に向けた、ミシュラン星付きシェフとの連携や、イスラム圏における本県ハラール商品の需要獲得、近年急成長し、巨大市場となった越境ECサイトへの出展等、ポテンシャルを秘めた新たな市場へチャレンジする。

（3）「物流上の技術的課題」の解決！ 2,850千円

高い輸送費や品質劣化等、輸出拡大の障壁となっている物流面の課題解決を図り、「新たな物流ルートの構築」に取り組む。

（4）海外市場の開拓に取り組む「多様な主体」を育む！ 2,000千円

海外展開を目指す意欲ある生産者に対し、輸出の最前線を体験する「ファシリティツアー（施設見学）」の実施や、海外バイヤーとの直接の商談、オンライン商談、ウェブセミナー等による新たな取引先の開拓を図る。

（5）相手国の輸入規制に対応する「輸出型園地」の育成！ 81,600千円

海外市場が求める「品質・コスト・ロット」での生産や規制に対応できる「輸出型園地」を育成するとともに、衛生管理などに対応した生産・加工体制を構築する。

担当：もうかるブランド推進課

① 経営者の想いをつなぐ事業承継支援事業



【令和3年度当初予算額 12,000千円】

1 目的 県内企業の優れた技術・ノウハウの伝承を図るため、
 全県をカバーする「事業承継ネットワーク」の支援機能を強化するとともに、
 「移住・就労・創業」との連携により幅広い「承継候補者」の掘り起こしを促進し、
 経営者が長年培ってきた経営資源を円滑に次世代に引き継ぎ、
 県内経済の持続的発展に繋げる。

2 事業内容 **(1) 地方回帰の流れを活かした「事業承継マッチング」機能の強化 6,000千円**

- 「事業承継ネットワーク」を効果的に活用し、
 「移住・就労・創業」と一体となったマッチングを支援
- 県内3圏域に配置したコーディネーターと移住コンシェルジュ等との
 連携強化による県内外からの承継候補者の掘り起こし
 - サテライトオフィス企業や、地域おこし協力隊などに
 承継案件を積極的かつ重点的に情報提供
 - 移住者、M&Aのマッチング成功事例を紹介する動画配信
 - 移住・創業イベントでの「相談ブース」設置による個別相談を実施し、
 きめ細やかなフォローアップ

(2) ① 事業承継支援費補助金 6,000千円

- 元経営者が後継者にノウハウを伝えるコンサルティングや、
 事業承継に係る税理士、公認会計士等専門家の活用（事業承継計画の策定、
 企業価値の算出等）を支援し、円滑な事業承継を促進
- 補助率：1／2以内
 - 補助上限額：30万円

担当：商工政策課

徳島県地域産業活性化事業



【令和3年度当初予算額 998,314千円】
 【令和2年度2月補正額 10,000千円】

1 目的 小規模事業者のコロナ禍の克服と持続的発展に資する、商工団体(商工会議所、商工会、中小企業団体中央会)が実施する支援事業等の円滑な推進を図ることにより、本県経済の活性化を実現する。

- 2 事業内容
- (1) オンリーワン補助金 56,359千円 (うち補正10,000千円)**
- 地域の実情・特性を踏まえ、商工団体が創意工夫を凝らし実施する事業を支援
- 新**ニューノーマル実装事業
 - ・感染拡大防止と県内経済回復の加速の両立に向けた取組み
 - 例) ドライブインシアターの開催、商店街のキャッシュレス導入支援
 - 地域活力創造連携事業
 - ・地域の垣根を越えた複数団体連携による取組み
 - 例) スタンプラリーによる消費喚起、徳島回帰に向けた人材マッチング実施
 - 支援力強化・地域課題解決事業
 - ・企業の先進的な取組みをサポート、地域課題を解決する取組み
 - 例) 企業のIoT・AI導入支援、観光資源のブラッシュアップ など
- (2) ベーシック補助金 951,955千円**
- 県施策との連携、国資金の活用実績を補助金額に反映し、頑張る商工団体を重点支援
- 【主な実績判定項目】
- 事業者の成長・経済変化への対応促進
 - ・県経営革新計画・創業計画の策定支援、国の持続化補助金等の申請支援
 - 商工団体の組織力の強化
 - ・会員数の維持・確保、経営指導員のリカレント教育の取組み
 - 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者支援
 - ・感染予防対策の周知・啓発、プレミアム飲食券・商品券の発行支援 など

担当：商工政策課

気候危機を迎え撃ち脱炭素をリードする「環境首都とくしま」



【令和3年度当初予算額 201,200千円】

1 目的

自然・水素エネルギーの導入促進をはじめとする気候変動の「緩和策」と気候変動を危機事象と捉えた県民総ぐるみの「適応策」の加速により、「環境首都とくしま」として、「2050年カーボンニュートラル」による「グリーン社会の実現」に向けた気候変動対策を推進する。

2 事業内容

(1) ①「緩和」×「適応」で挑む気候変動対策推進事業 2,500千円

- 緩和策と適応策を両輪に気候変動対策を効果的に推進するため、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換を促進し、「環境と経済の好循環」の実現を図る。
 - ・「徳島版ESG地域金融活用協議会」を活用し中小企業の資金調達を支援
 - ・各家庭の省エネ努力により削減したCO₂に価格付けし、中小企業が購入できる仕組みを構築し、家庭・中小企業の双方でCO₂を削減
 - ・気候変動適応推進員によるSNS等を活用した情報発信や「適応策フェア」の開催

(2) ②水素エネルギー「新時代」展開加速事業 70,700千円

- 地産水素を活用した供給拠点構築と燃料電池バス導入の好機を逃さず、徳島から水素社会の実現を加速する。
 - ・水素供給拠点を活用した広域的な情報発信や「ビジネスマッチング」の実施
 - ・燃料電池バスを最大限活用した「走る広告塔」としての普及啓発の実施
 - ・「水素グリッド構想」の具現化と更なる進化を図る「アクションプラン」の策定
 - ・「燃料電池船」試験導入とCO₂フリー水素によるサプライチェーン構築を推進

(3) ③ゼロカーボンシティ推進事業補助金 128,000千円

- 自然エネルギーの導入可能性調査や「気候変動×防災」に資する設備補助に加え、電力の再エネ100%転換を目指す取組みへの支援により、脱炭素社会の実現を図る。
 - ・災害発生時にも活用できる自立・分散型電源を備えたZEB・ZEHに補助
 - ・使用電力の「脱炭素化」を目指す中小企業の「アクションプラン策定」を支援

担当：環境首都課

気候変動に打ち克つ！持続可能な農林水産業



【令和3年度当初予算額 22,000千円】

1 目的 地球温暖化がもたらす気候変動により農林水産物の生産における影響が懸念される中、持続可能で競争力のある農林水産業の実現を図るため、気候変動に適応する新品種・新技術の開発を推進する。

2 事業内容 また、地球温暖化を効果的に活用した、新たな農林水産ブランドの創出を図る。

(1) 気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト 18,000千円

気候変動による農林水産物の生育不良や品質低下などの影響を回避・軽減する新品種や新技術の開発及び、地球温暖化の効果的な活用に向けた熱帯性果樹の栽培技術の開発に取り組む。

① 気候変動に伴うブロッコリーの新たな病害の防除対策の開発

- ・ 温暖化によるスタチ、ミカンの品質や貯蔵性の低下などを軽減する晩生品種の開発

- ・ パイナップル、マンゴーなど熱帯性果樹の低コスト栽培技術の開発

② 黒毛和牛の夏季繁殖成績の向上を図る飼養管理技術の開発

- ・ 菌床しいたけ栽培の夏場の空調コストを低減する温度管理技術の開発

③ 徳島県海域で発生する麻痺性貝毒プランクトンの生理特性や毒性の評価 等

(2) 勝ち抜く！園芸産地強靱化事業（再掲）

研究機関で開発された、気候変動に適応する新品種や新技術、熱帯性果樹の低コスト栽培技術等の生産現場での実装を支援する。

(3) 魚づくり革命・もうかる養殖魚創出事業 4,000千円

気候変動に適応する新たな養殖品種の導入に向け、県南部の主要な水産物「トコブシ」や南方系高級魚「キジハタ」の陸上養殖技術の開発に取り組む。

① トコブシ陸上養殖技術の開発

- ・ キジハタ陸上養殖技術の開発

担当：もうかるブランド推進課、水産振興課、農林水産総合技術支援センター経営推進課

災害列島を迎え撃つ「国土強靱化」の推進



【令和3年度当初予算額 480,000千円】

【令和2年度2月補正額 5,500千円】

【令和4年度債務負担行為設定額 733,500千円】

1 目的 切迫する「南海トラフ巨大地震」をはじめ大規模災害に備えるため、事前復興の視点を含む「国土強靱化」の取組みをハード・ソフト両面から加速する。

2 事業内容 (1) **新**事前復興推進事業 19,500千円

○広く県民に「事前復興」の浸透を図り、具体的な実践につなげる。

①「事前復興まちづくり」実装事業

・地域住民等の参画によるワークショップを開催し、合意形成に向けた手法を構築

②事前復興啓発事業

・産業分野別の復興までの道のりを示す「事前復興セミナー」をWeb配信

・事前復興をテーマとした「ラジオドラマ」のシナリオを募集し、物語形式で発信

(2) **新**複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業 157,000千円の内数

○地震・津波から命を守るため、市町村の取組みを強力に支援する。

①避難路確保・緊急避難場所機能強化事業

・「助かる命を助ける」ため、避難路等の整備や緊急避難場所の機能強化等を推進

②避難所強靱化対策推進事業

・「助かった命をつなぐ」ため、避難所における自立的ライフライン機能の強化や非構造部材の耐震化等を推進

(3) **新**「awa臨港プロジェクト」徳島東部防災拠点施設等改修事業 366,500千円

○マリニピア沖洲「旧印刷センター」について、災害時に全国からの支援物資を中継する「広域物資輸送拠点」を前提として、平時も県民が気軽に利用できる「リバーシブルな施設」に改修する。※令和4年度中の供用開始

担当：危機管理政策課、とくしまゼロ作戦課

「フェーズフリー」の推進による県民防災力の強化



【令和3年度当初予算額 8,000千円】

【令和2年度2月補正額 10,000千円】

1 目的 「東日本大震災」から10年が経過し、県民の防災意識の低下が懸念されることから、新たに「フェーズフリー」の概念による取組みを推進し、「県民防災力の強化」に繋げる。
《フェーズフリー》・・・「平常時（いつも）の延長が、災害時（もしも）も活かされる」という考え方

2 事業内容 **(1) ① 「フェーズフリー」×DX推進事業 8,000千円**

- ① 「フェーズフリー」の普及
 - パンフレット・動画の制作
 - ・フェーズフリーを「見える化」、YouTube「徳島県チャンネル」等を通じて広く発信
 - 「『フェーズフリー』推進シンポジウム」開催
 - ・コンテスト知事表彰、基調講演、パネルディスカッション等
- ② 「フェーズフリー」実装コンテスト
 - 〈ソフト部門〉 ・学生、一般を対象に、アイデア募集
(例：緊急避難場所へのピクニック、家庭でのローリングストック備蓄)
 - 〈ハード部門〉 ・企業、事業所を対象に、製品募集 ⇒ 「お試し発注」で販路開拓支援
(例：耐水性文房具、ポータブル蓄電池、プラグインハイブリッド車)
- ③ 「eー防災ゲーム」コンテスト
 - 遊びの延長で、いつの間にか防災知識が身につく「フェーズフリー」ゲームを公募
 - ・「マチ★アソビ」や「TGS（東京ゲームショー）」でPR
 - ・「GIGAスクール」コンテンツとして活用（フェーズフリー防災教育）
 - ・「県立防災センター」啓発コンテンツのデジタル化

(2) ① とくしまゼロ作戦LINE公式アカウント開設事業 10,000千円

- 普段使い（フェーズフリー）のLINEに、適時適切に防災情報を提供
 - ⇒ ・県民の迅速な避難行動等に繋げ、安全・安心を確保
 - ・「メニュー表示」から、主体的かつ容易に「安心とくしま」HPへアクセス可

担当：とくしまゼロ作戦課



awaもくよんプロジェクト（徳島県新浜町団地建替PFI事業）



【令和3年度当初予算額 384,000千円】

- 1 目的
- ・ 県営住宅「新浜町団地」においては、昭和30年代に建設された旧棟の老朽化が進行しているだけでなく、狭小で浴室が備わっていないなど、著しく不便な状態であるため、「旧3棟を1棟に集約」する建替えを行う。
- 2 事業内容
- 新 awaもくよんプロジェクト 384,000千円**
- ・ 建替えに当たっては、SDGs達成の観点から、CO₂の排出抑制に優れた材料である木材を用いることとし、「全国初のあらわし木(もく)造・4(よん)階建て」を実現することで、本県における木材利用の喚起につながるモデルとする「awaもくよんプロジェクト」として事業を進める。
 - ・ 「県営住宅の新築工事及び管理業務」や、建替えに伴って発生する空地を活用する「地域貢献施設の整備及び管理業務」については、県内企業が活躍できるPFI事業として実施する。
 - ・ スケジュールは次のとおり。
 - ① PFI方式による事業契約の締結は、令和3年10月。
 - ② 県営住宅の建設期間は、令和4年1月～令和4年9月。
 - ③ 地域貢献施設の建設期間は、令和4年4月～令和5年3月。

地方独立行政法人徳島県鳴門病院運営事業



【令和3年度当初予算額 2,290,420千円】

- 1 目的 地域の中核的病院として、求められる医療を継続的かつ安定的に提供するため、地方独立行政法人徳島県鳴門病院の円滑な運営と医療提供体制の充実・強化を図る。
- 2 事業内容
- (1) 地方独立行政法人徳島県鳴門病院運営費 1,328,818千円**
 - ⑧ 政策医療等の充実・強化に係る運営費負担金 307,597千円
県が示した「第3期中期目標」の達成に向け、鳴門病院が機能強化に取り組むために必要な運営費負担を行う。
 - 鳴門病院運営資金貸付金（短期貸付）・共済負担金 909,668千円
運営に必要な資金の短期貸付を行うとともに、「地方公務員等共済組合法」に基づき、設立団体が負担すべき共済費を交付する。
 - 鳴門病院資金貸付金（長期貸付）の償還に係る運営費負担金 106,600千円
元利償還額の1/2の額を運営費負担金として交付する。
 - 鳴門病院附属看護専門学校の授業料等減免に係る負担金 3,896千円
「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、学校が実施する授業料等の減免に要する費用を負担する。
 - 鳴門病院評価委員会の開催等に要する経費 1,057千円
鳴門病院の業務実績評価を行うための評価委員会の開催等を行う。
 - (2) 地方独立行政法人徳島県鳴門病院資金貸付金 961,602千円**
 - 鳴門病院資金貸付金（長期貸付）
「総合医療情報システム」や「MRI」等の高額医療機器の更新や施設整備に必要な資金の長期貸付を行う。

担当：医療政策課

新 救急搬送支援システム整備事業



【令和3年度当初予算額 173,250千円】

1 目的 医療機関と消防機関において、情報の共有性・双方向性を確立し、患者の症状に応じた適切な医療機関へ迅速に搬送を行うため、ICTを活用した救急搬送支援システムを構築する。

2 事業内容 **(1) 救急搬送支援システム整備事業 173,250千円**

- 医療機関の救急搬送受入準備状況や、消防機関の救急隊の出動事案に関する状況を入力するシステムを新たに構築。
各消防機関にはタブレット等の端末機器を配備。
救急隊が、タブレットからシステムにログインし搬送先を選定するとともに、患者の状態を画像・動画で送信。
医療従事者及び救急隊員の業務改善・救急搬送の効率化を図る。
- 新システムの機能
 - ① 医療機関情報共有機能（応需情報・空床情報等）
 - ② 搬送実績情報共有機能（救急隊の搬送実績情報共有・医療機関選定を支援）
 - ③ 傷病者情報共有機能（救急隊による動画・画像を医療機関と共有）
 - ④ 緊急度判定支援機能、搬送困難事案の一斉通報機能など
- 配備機関
徳島県、県内消防機関、救急告示医療機関等

担当：医療政策課

県立中央病院ER棟整備推進事業



【令和3年度予算額 2,097,000千円】

【令和4年度債務負担行為設定額 2,948,000千円】

1 目的 県立中央病院の救急医療機能を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症終息後も起こりうる新たな感染症にも対応できる施設として機能向上を図るため、ER棟を整備する。

2 事業内容 (1) 県立中央病院ER棟整備方針

- ① 救命救急機能
 - ・ 感染症外来（陰圧設備を備えた）の設置による感染症対応の充実
 - ・ 「内視鏡センター」整備による救急患者等に対する診断・治療の充実
- ② 災害対応機能
 - ・ 発災時は災害対策本部、DMAT活動拠点本部として実行性の高い機能を充実
- ③ 地域医療支援機能
 - ・ 県立3病院間を「5G網」で接続し、遠隔医療実施による地域医療の充実
 - ・ 「徳島医療コンソーシアム」連携病院への展開による地域医療支援の充実
- ④ 人材育成機能
 - ・ 「5Gオンライン診察室」を利用した研修機能の充実

(2) 建物の概要

構造：鉄筋コンクリート造5階建て、免震構造
 延面積：約6,500㎡

(3) スケジュール

- ① 令和4年末：県立中央病院ER棟完成
- ② 令和5～6年度：本館棟改修によるさらなる高度医療機能の向上
 - ・ 本館棟[※]ICU・HCU、「外来化学療法室」を拡充し、高度な医療提供体制の構築
 - ・ ER棟「HCU」を移設後、「スキルスラボ」を設置し、専門性の高い人材を育成

※ ICU：集中治療室 HCU：高度治療室

担当：経営改革課

① 生涯健康とくしまを目指す生活習慣病等対策事業



【令和3年度当初予算額 38,500千円】

- 1 目的 糖尿病やCOPDなど、生活習慣に起因する疾患の予防及び重症化予防を推進するため、糖尿病等による死亡率の高い「西部地域」をフィールドとし、「生活習慣と病気の関係」についての調査研究及び重点的な対策を行う。
 加えて、「テクとく」のインセンティブや活用法に工夫を加え、「食」と「運動」による生活習慣の改善を加速する。
- 2 事業内容
- (1) 西部地域における糖尿病性腎症重症化と生活習慣に関する調査研究 26,245千円
 - 西部地域をフィールドとして、尿中微量アルブミン検査及び生活習慣に関するアンケート調査を実施。微量アルブミン尿、糖尿病未治療者と関連する因子を調査し、糖尿病死亡率が高い要因を分析。糖尿病対策におけるEBPM（証拠に基づく政策立案）の推進に寄与する。
 - (2) COPD予防対策事業 1,821千円
 - 西部地域へ肺チェッカーを重点的に貸し出し、あらゆる機会を通じ啓発強化を図る。
 - 家族等大切な人に向けたメッセージカードにより、肺の健康への配慮や肺機能検査の受検を呼びかける。
 - 「テクとく」を活用し、COPD予防に係る医療機関の受診者に「健康ポイント」の付与及び抽選の賞品として「肺機能検査を含む人間ドック」を加える。
 - (3) テクとくを活用した生活習慣病対策事業 10,434千円
 - 自宅での野菜摂取を促進するため「野菜レシピ」を配信する。
 - シニア世代及び新規利用者拡大に向け、馴染みのある「四国八十八ヶ所」をモチーフにしたウォーキングコースを導入する。
 - 徳島県版マイナポイントと健康ポイントを交換できる仕組みを導入する。

担当：健康づくり課

③ 骨髓等移植ドナー支援事業



【令和3年度当初予算額 1,000千円】

1 目的 白血病等の血液難病の治療に欠かせない骨髓又は末梢血幹細胞（以下「骨髓等」という。）の移植について、ドナー登録や骨髓等の提供を推進するため、「骨髓等移植ドナー」及び「ドナーが勤める事業所」に助成を行う。

2 事業内容 ○補助内容
市町村が「骨髓等移植ドナー」及び「ドナーが勤める事業所」に助成した費用の一部を補助する。

■対象者

ドナー：骨髓等の提供のための通院、入院等にかかる休業補償としての助成
事業所：ドナーの休暇取得に伴う「ドナーが勤める事業所」に対する助成
※ドナーの休暇制度を設けている事業所は対象外

■補助額

ドナー：1日2万円×骨髓等の提供に要した日数（7日間を上限とする）
事業所：ドナー1人につき5万円

■補助率

10/10（県1/2、市町村1/2）

未来にはばたけ！ 障がい者就労促進事業



【令和3年度当初予算額 45,000千円】

1 目的 障がいのある方が、地域との協働により「地域を支える主役」となるとともに、「新たな日常」下での自立と社会参加の促進を図るため、障がい者の就労支援の取組みを推進する。

2 事業内容 **(1) 障がい者いきいき活躍就労促進事業 20,000千円**

- ①就労製品ブランド力・技術力向上支援事業
 - ・「藍染め」や「県産品を使ったスウィーツ」をはじめとする就労製品のブランド力強化や、エシカル消費を踏まえたイメージ戦略
 - ⑨「新しい生活様式」に対応したECサイト販売用製品の開発
 - ⑨民間企業等からの発注を目指した生産活動の取組み
- ②障がい者マイスター認定事業
 - ・優れた技術・技能を有する方を障がい者マイスターとして認定
- ③ほっとかない事業（スタートアップ支援事業）
 - ・地域を支える「移動販売」事業に対し、初期投資（車両・備品等）を支援

(2) とくしま農福連携ネットワーク加速化事業 25,000千円

- ①農福連携による障がい者の就農促進事業
 - ⑨障がい者が農業の支え手となる「施設外就労」を強力に推進する
 - 「農福連携マッチング・マネージャー」及び「課題解決ワンストップ窓口」の設置
 - ⑨「新たな日常」に対応した「農福マルシェ」の開催やECサイト販売で選ばれる「おしゃれ」な6次産業化製品の開発
- ②農福連携マーケット拡大支援事業
 - ・販路の確保・拡大に向けた需要と供給の状況調査
 - ・専門家を交えた農作物の導入、付加価値の向上や安定した販路へのマッチング等
 - 「生産から販売」までを一体的に支援

担当：障がい福祉課

誰もが活躍!「ダイバーシティとくしま」の推進



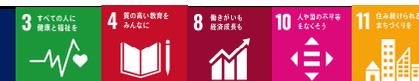
【令和3年度当初予算額 30,200千円】
 【令和2年度2月補正額 4,000千円】

1 目的 誰もがいきいきと活躍できる「ダイバーシティとくしま」を実現するため、「ダイバーシティ」に対する理解を促進するとともに、パラリンピックに向けた機運を醸成し、障がい者芸術文化活動を推進する。

- 2 事業内容
- (1) **①** **ダイバーシティとくしま実装事業** 4,000千円 (2月補正)
 「ダイバーシティ」の理念を広く県民に伝えるため、フォーラムや出前講座を展開するとともに、「ダイバーシティ」をテーマとしたオンラインワークショップを開催する。
 - (2) **東京2020パラリンピック・芸術文化活動応援事業** 11,000千円
 県内で採火した聖火の展示や出立式を行う「聖火フェスティバル」や、競技の中継を行う「コミュニティライブサイト」の実施等により、パラリンピックの機運を醸成し、共生社会に向けた取組みを推進する。
 - (3) **とくしま共生アートプロジェクト推進事業** 17,000千円
 造形芸術や舞台芸術における障がい者の創作・表現活動への支援や発表機会の創出により、障がいへの理解を促進し、障がい者芸術文化活動の振興を図る。
 - (4) **①** **アール・ブリュット作品購入プロジェクト** 2,200千円
 多様な人々による独創性豊かなアール・ブリュット作品をクラウドファンディングを活用して購入し、近代美術館の新たな魅力を広く発信するとともに、「ダイバーシティ」への理解を深める。

担当：ダイバーシティ推進課、文化の森振興センター

新時代対応！国府支援学校整備事業



【令和3年度当初予算額 296,450千円】

- 1 目的**
- 国府支援学校は、児童生徒数の増加に伴う校舎の狭隘化、老朽化が進行しており、「新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会」（令和2年度設置）においても、早急な教育環境の改善が求められた。
- そのため、国が令和3年春にも策定する「設置基準」に即応するとともに、「進化型の農福連携」や「地域一体型のキャリア教育」等、「ダイバーシティとくしま」の先導モデルとしての機能強化をめざし、「基本・実施設計」を実施するとともに、駐車場や農場等の整備に必要な学校周辺の土地を取得する。

2 事業内容 「ダイバーシティとくしま」の先導を支える施設整備の方針

① 狭隘化、老朽化への対応

- ・子どもたちがのびのびと活動できる教室と安全で快適な教育環境の整備
- ・在籍者予測を踏まえ、国の「設置基準」と「新しい生活様式」を実現する環境整備
- ・児童生徒の安全対策のため、学校周辺土地を取得し、駐車場を整備

② 先導モデルとしての機能強化

- ・地域や企業等との協働による商品開発など多機能で自由度の高い作業スペースの整備
- ・「ふらっとKOKUFU」等と農業分野の連携を行う農作業施設の整備
- ・和太鼓やポッチャなど児童生徒の生涯学習につながる多目的活動室、体育館の整備
- ・オンラインショップや遠隔での地域支援などICTを活用したオンラインルームの整備
- ・災害発生時に障がい者等への支援ができる避難所機能の整備

※児童生徒数（小中高等部） 278名（R2） → 357名（R7専門家の最大予測値）

〔 ・基本・実施設計費 237,000千円
 ・学校周辺土地取得費 59,450千円 〕

担当：特別支援教育課

高病原性鳥インフルエンザ緊急対策事業



【令和2年度2月補正額 197,000千円】

1 目 的 令和2年12月19日の県内農場での高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、家畜伝染病予防法に基づく制限を受けた生産者への補償を行うとともに、依然として、国内発生が継続している状況に鑑み、県内での発生防止のため、追加的な防疫措置を実施する。

2 事業内容 **高病原性鳥インフルエンザ緊急対策事業 197,000千円**

◇県内発生に係る制限区域内の生産者への補償（130,000千円）

- ・ 家畜伝染病予防法第60条に基づき、移動制限に伴う損失（売上げの減少又は費用の増加）を補填する。

◇県内発生防止に係る追加的な防疫措置（67,000千円）

- ・ 養鶏場に隣接するため池の消毒や防疫資材の備蓄等、県内での発生防止に向けた防疫措置を行う。